

縮尺 20万分の1

土地分類図付属資料

(神奈川県)

昭和50年

国土庁土地局

縮尺 20万分の1 土地分類図付属資料

目 次

利用者のために

A. 土地条件等の概要の部

1. 地形区分とその性状の概要	1
2. 表層地質の分布とその性状等の概要	5
3. 土壤統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要	10
4. 土地利用可能性分級等の概要	14

B. 統 計 の 部

1. 土地利用現況	22
1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳	22
1-2 D. I. D. おおむね 10万人以上の都市の土地利用現況の内訳	27
2. 自然的土地条件	
2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳	28
2-2 標高区分別面積市町村別内訳	30
2-3 地形区分別面積市町村別内訳	32
2-4-1 表層地質分布面積市町村内訳	36
2-4-2 表層地質の性状別分布面積市町村内訳	40
2-5 土壤統群分布面積市町村別内訳	46
3. 土地利用可能性分級	
3-1 土地利用可能性分級と自然条件との関連	48
3-2 土地利用可能性分級と地形区分との関連	50
3-2-1 土地利用可能性分級と傾斜区分の関連	50
3-2-2 土地利用可能性分級と標高区分の関連	50
3-2-3 土地利用可能性分級と土壤生産力可能性との関連	51
3-2-4 土地利用可能性分級と土壤生産力可能性との関連	51
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	52
3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳	54

利用者のために

I 編集方針

この付属資料は、縮尺10万分の1土地分類図についての概要説明と面積統計とに分けられるが、面積統計については、原則としてそれぞれの縮尺10万分の1土地分類図の統計項目に対応した図幅について面積を測定し製表作成したものである。

たとえば、2-2表「傾斜区分別面積市町村別内訳」は、「傾斜区分」(オーバーレイ)を市町村の行政区画単位に面積測定して作成したものであり、3-3-1表「土地利用可能性分級と地形区分との関連」は、「土地利用可能性分級図」および「地形分類図」を用い、前者においては、土地利用分級である類地のパターンを、後者においては、地形区分のパターンをそれぞれ重ねあわせて面積を測定し、両者の面積的関連を把握して作成したものである。

ただし、1-1表「土地利用現況別市町村別内訳」および1-2表「D.I.Dおおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」については、神奈川県における各種統計資料等を調整して作成したものである。

なお縮尺10万分の1の土地分類図の各図幅と、附属資料統計表との関連を示すと次のとおりである。

統計表作成のため使用した土地分類図等の一覧

統計表の名称	土地分類図等の名称	1 地形図	2 起伏量・谷密度図	3 傾斜区分図	4 表(平面的地分類質図)	5 表(垂直的地分類質図)	6 土壌図	7 土等級生産力区分可能図	8 土地利用現況分級図	9 土地利用可能性分級図	10 標高区分図	11 都道府県統計資料等
1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳												○
1-2 D.I.Dおおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳				○								○
2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳		○			○							
2-2 標高区分別面積市町村別内訳											○	
2-3 地形区分面積市町村別内訳												
2-4-1 表層地質分布面積市町村別内訳												
2-4-2 表層地質の性状別分布面積市町村内訳					○	○						
2-5 土壤統群分布面積市町村別内訳							○					
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳		○										○
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連				○								○
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連												○
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連												○
3-2-4 土地利用可能性分級と土壤生産力可能性との関連							○					○
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳												○

II 利用上の留意事項

土地分類図の各図から測定された項目別パターンの面積は、各図の図示表現の技術的な制約、すなわち縮尺10万分の1の土地分類の場合には最少図示単位として0.25km²(図上では5mm四方)を原則とし、特殊な場合においても最少径200mm(図上で2mm)を限度としたため、実在の面積とは一致しない場合もあると考え

られる。

とくにパターンの小さい性格を持つ分類項目にあっては、やや小さ目に数値が出る傾向がある。また、道路河川等は、その周辺の分類に含まれるのでやや大き目に数値が出る傾向がある。

したがって、この統計表を各資料として使用する場合には、項目ごとの絶対値を使用するのではなく、概括的把握ないし、項目の構成比率等を用いるようにされたい。

III 表中の記号について

「0」は掲載単位に満たないもの

「-」は該当事項のないもの

「」空白は編集時において資料がなく不明のもの

IV 県統計等の資料について

ア 県全体面積 2387.28 Km²は全国都道府県市区町村別面積調(建設省国土地理院昭和47年10月1日現在)

により、表示単位以下は原則として4捨5入とした。

イ 人造湖の市町村別面積については、統計資料がないので、5万分の1地形図を図測し求めた。

V 調査機関一覧表

総 括	神奈川県農政部農地整備課 横浜市中区日本大通り1 電話 045-201-1111 内線 3473
地 形 分 類	防衛大学校数学物理学教室地学研究室 横須賀市走水1丁目10番20号 電話 0468-41-3810
表 層 地 質	神奈川県温泉研究所 足柄下郡箱根町湯本997 電話 0465-23-3588
土 壤	神奈川県農業総合研究所 平塚市寺田繩498 電話 0463-58-0333
土 地 利 用	神奈川県林業試験場 電話 0462-48-0321
現 況	厚木市七沢日向原657
土 地 利 用	神奈川県企画調査部企画課 横浜市中区日本大通り1 電話 045-201-1111 内線 2418
可 能 性 分 級	神奈川県農業総合研究所 平塚市寺田繩498 神奈川県林業試験場 厚木市七沢日向原657 防衛大学校数学物理学教室地学研究室 横須賀市走水1丁目10番20号

A. 土地条件等の概要の部

1. 地形区分とその性状等の概要

神奈川県は関東平野の南西部に位置し、面積は狭小であるが各種の地形が組み合わさって構成されている。大別すると、県の西部は丹沢山地・箱根火山地によって占められ、丹沢山地の南には大磯丘陵（淘綾丘陵）があり、大磯丘陵と箱根火山地との間には酒匂川流域に発達した足柄平野がある。県の中央部は南流する相模川と、その左岸に形成された広大な相模原台地・右岸側丹沢山麓に形成された愛甲台地など、洪積台地の発達が顕著である更に相模川下流部には幅広い沖積平野が発達し、その前面相模湾岸には湘南砂丘地帯が東西に拡がっている。県東部は、横浜市西縁部を南流し江ノ島に出る境川から北東部の多摩川までの多摩丘陵地と、南に突出して東京湾と相模湾を分ける三浦半島地区がある。多摩川下流の三角州と一部の下末吉台地を除き、丘陵性の地形が卓越する地帯である。

1-1 西部山地とその周辺

1-1-1 丹沢山地

県の北西部を占める広い区域である。丹沢山地の地質は、主に第三系の御坂層とそれらを貫く石英閃緑岩および変成岩からなる。またそれをとりまいて、本県ではもっとも古い地層であり侵蝕もすんだ小仏山地や、南部は第三系鮮新統の足柄層よりなる足柄山地などによって構成されている。また丹沢山地は、激しい断層運動をこうむり複雑になっている。県内ではもっとも標高の高い蛭ヶ岳（1,673m）をはじめ、丹沢山（1,567m）・塔ヶ岳（1,491m）などが中心で、この付近はもっとも急峻で比高600m以上の地帯である。尾根の周辺は山地崩壊現象がいちじるしい。北部山地は400m～600mの起伏量を示し、東側から西部にかけて低くなる傾向がある。道志川・桂川沿いには一部多摩面、多くは立川面に対比し得る2～3段の段丘面が発達している。小仏山地は、県内でももっとも古い中生界の小仏層からなる山地である。伊勢原から清川村を縦断し、津久井町をほぼ南北に走る構造線は、丹沢山地主要部と、東側の中津山地・丘陵地を区分している。断層線の東側400m～600mの中起伏山地では、仏果山（747m）・経ヶ岳（633m）などが構造線にほぼ平行に配列し、先行性の性格をもつ中津川渓谷がみとめられる。その東縁部には、200m～400mの小起伏山地ならびに丘陵が順次高度を減じ、相模川沿いの低地に接している。一方丹沢山地の南部には、酒匂川と、その支流鮎沢川に沿ってほぼ東西に走る神繩衝上断層以南と、矢倉岳および足柄峠によって囲まれる足柄山地がある。ほぼ400m～600mの中起伏の山地で、山頂は丸みを帯び緩傾斜面の発達した尾根や平坦面の分布がみとめられる。

1-1-2 箱根火山地

県西南部は、箱根火山および湯河原火山と、火山活動の結果出来た芦ノ湖および南方向に突出する真鶴岬よりなる。箱根火山は典型的な三重式火山であり、新旧の外輪山と7つの中央火口丘とによって特徴づけられる。金時山（1,213m）・明神ヶ岳（1,169m）・明星ヶ岳（724m）・塔の峰（566m）などによってつくられる北部山稜、静岡県に接する西部の丸岳（1,154m）、長尾峠（903m）・三国山（1,101m）・山伏峠（1,034m）・鞍掛山（1,014m）や、南部の大観山（1,011m）・白銀山（993m）などを結ぶ環状の山稜は古期外輪山である。この外側斜面は15°前後の広い緩傾斜面である。内側は20°～30°の急傾斜でカルデラ底にのぞんでいる。新期の外輪山は、旧期カルデラ内の東寄りで浅間山（802m）・鷹巣山（837m）・屏風山（948m）を結ぶ半円形の部分である。中央火口丘は、東側を新期外輪山、西側は古期外輪山によって囲まれた部分にあり、北から小塚山（853m）・台ヶ岳

(1,454m)・神山(1,438m)・二子山(1,090m)などの火山がある。神山は成層火山で他はいずれも溶岩円頂丘である。神山の北斜面には広い山麓緩斜面がみとめられるが、これは神山大爆発の結果火山泥流が西流して火口原湖を両断し、芦ノ湖と仙石原をつくった。火山泥流部分は8°~15°の緩傾斜面である。大涌谷付近の神山東北斜面、早雲山々麓には今日尚多数の硫氣孔が在り噴氣現象がみられる。

1-1-3 大磯丘陵

丹沢山地の南相模湾に接して発達するほぼ長方形の丘陵地である。ほとんど洪積世の地層によって構成される。第三紀中頃の堆積物で砂岩・凝灰岩からなる高麗山層、第三紀末期の礫岩よりなる鷹取山層、砂岩よりなる大磯層によって構成されている。最高所は北西部不動山(327m)付近で、南東方向に順次低くなっている。丘陵の北縁は、東西方向に走る渋沢断層によって区切られ小秦野盆地に接している。西縁部も、北西-南東方向の国府津-松田断層沿いに発達し、ほぼ一直線の急崖が酒匂川沖積地との間を区切っている。国府津-大磯間は、一直線状に丘陵が相模湾に迫り、海岸平野はほとんど見あたらない。幅約1km、の僅かな海岸段丘の部分は、国道1号線・国鉄東海道線・西湘バイパスなどに利用されている。丘陵の表面は西部の断層崖頭がもっとも高く、ここを頂点としてほど南東方向に傾斜している。また丘陵面にはおおよそ2つの台地面が考えられるが、狭小なため図中には示していない。

1-1-4 秦野盆地

丹沢山地南部に位置し、東西約6.5km、南北約4kmの陥没盆地である。盆地周縁は断層で囲まれ、特に南縁部は東西に走る渋谷断層によって東側の大磯丘陵と直線的に区切られる。盆地床は南流する四十八瀬川・金目川や、盆地床を縦断して南東流する水無川・葛葉川などによってつくられた複合扇状地面が、ほぼ2段の段丘面となっている。盆地の中心である秦野市街は、この水無川扇状地の扇端部に発達している。扇状地面でもある盆地床は地下水位が低く、水田耕作などはほとんどみられず、古来たばこや落花生などの栽培で特徴づけられる土地利用がみとめられる。

1-1-5 足柄平野

丹沢山地・箱根火山・大磯丘陵によって囲まれ、酒匂川が北西から流入して出来た沖積低地である。この部分は地質構造上酒匂川地溝帯とも呼ばれている。酒匂川は低地の北西から流入し、北東部の松田町で秦野盆地から流下した川音川と合流し、低地を斜行して南流している。酒匂川およびその西側にある仙人川・洞川・内川沿いには自然堤防と低湿地が交互に発達している。北東部松田市街の部分には川音川のつくった扇状地形がみられ、大磯丘陵沿いの東縁部には断層沿いに発達した扇状地性堆積面が連続している。平野の北部は標高30m~70mで、南部と比較して急勾配な扇状地性の平野である。南部特に南西部は低平で、鵠宮北部の一部の地帶を除き三角州性低地の占める割合が大きい。

1-2 中央低地帯

1-2-1 相模原台地と高座丘陵地

県中央低地帯のうち、相模川北東部の多摩丘陵と横浜市西縁部の境川とによって囲まれ、南は茅ヶ崎低地に限られる地区である。東西約8km、南北約30km、の細長い洪積台地で相模川のつくった河成段丘である。台地面は南方向にやや傾斜し、北部の城山町では標高160m、南部で30m~50mの標高を示す。相模原台地はその高度によって、東から相模原面と、20m~25mの崖によって下位の田名原・陽原面に区分されている。陽原面は相模川沿いに局部的に分布する狭小な部分である。表層は、相模原面は武蔵野ローム、田名原、陽原面は立川ロームによって被覆されている。相模原台地は、行政上は相模原市・大和市・高座

郡綾瀬町・横浜市瀬谷区の全部と、津久井郡城山町・海老名市・座間市・茅ヶ崎市・藤沢市・横浜市戸塚区のそれぞれ一部を包含する広大な地域である。また座間市・高座郡綾瀬町・藤沢市西部には、相模原面より一段と高い標高40m～50mの丘陵が存在し、3°～8°の傾斜をもつ高座丘陵と呼ばれる部分を含んでいる。侵蝕もすみ不規則な谷地が発達し、茅ヶ崎低地に接している。丘陵上には狭小な上位台地が40m～50mの高度に発達し、下未吉ロームをのせている。中位の相模原面はもっとも広く、ほとんど起伏のみられない平坦な面で、相模原市総面積のほぼ7%を占める。座間市および大和市以南では、ほど南北方向に発達する樹枝状の谷によって台地面は開析され、谷頭部には深い谷が発達している。低地面との比高は北部程小さく10m～15mで、南部は15m～40mを示す部分もある。

1-2-2 愛甲、伊勢原台地

相模川谷岸円沢山地東側山麓に発達し、その大部分は相模川左岸の相模原台地中、下位面に対比される沖積台地である。愛甲部愛川町の東半部・厚木市・伊勢原市・秦野市の一部に分布す。この台地は、丹沢山地から流出して相模川に合流する中津川・玉川などの各河川によって扇状地がつくられ、その前面が隆起して台地面を形成したと考えられている。したがって台地面背後の山麓部には8°～20°のやや急傾斜を示す扇状地性の堆積面が広く分布している。また台地は、各河川によって細分され不連続なものになっており、伊勢原付近は開析がすみ複雑である。

1-2-3 相模低地

県の中央部を南流し相模湾に注ぐ相模川の両岸に発達した沖積平野である。平塚市・高座郡寒川町の大部分、厚木市、伊勢原市の東部と、海老名市茅ヶ崎市の西部地域をしめる。相模川は厚木付近で右岸の丹沢山塊から流下する中津川・小鮎川・玉川などを合流し、右岸側の沖積低地はその面積も広く、愛甲台地に接するところまで拡がり、平塚市の背後は県内でももっとも広い沖積低地帯である。左岸側は高座丘陵が迫っていて比較的狭くほぼ1～2kmの幅である。相模川沿いには、自然堤防と低湿地がほど南北方向に交互に発達し、一部には旧河道もみとめられる。自然堤防上には主要な古い集落や道路が発達しているが、最近では相模川沿いの水田地帯あるいは氾濫原の多くは工場用地として利用されている。沖積層の厚さは資料によれば海老名市付近でほぼ30mに達する。一方南西部の金目川・鈴川流域の低湿地帯では、沖積層の異常に厚い部分があり、その影響であろうか伊勢原市周辺の東部・南部では低湿地の部分、図中三角州性低地によって示される地帯が多い。

1-2-4 湘南砂丘地

相模川下流域の河成面と、その相模湾に沿って発達する海岸平野である。平塚市街西縁部から、藤沢市境川の河口にいたる東西約13～14m、海岸より3～4kmの地帯である。行政上平塚市、茅ヶ崎市・藤沢市各市域の南部である茅ヶ崎市・藤沢市の間には5～6列の砂丘列が発達し、この地帯には砂丘と砂丘間の後背湿地に対応した古い集落、道路・水田や湿地などの配列した痕跡が北東～南西方向にみとめられる。

砂丘上の標高は数m～十数mで、砂丘砂は細砂～中砂・埋没した黒土や火山灰・スコリアなどを挟んでいる。また茅ヶ崎西部の相模川河口と小出川に囲まれた部分では、旧河道や自然堤防が複雑に分布し、流路の局部的な変遷を示す微地形が残されている。

1-3 東部丘陵地と三浦半島

1-3-1 東部丘陵地

a) 多摩丘陵地帯

川崎市および横浜市の西縁部までの丘陵地帯をさす。この丘陵地は南部線くじ～横浜線かもい～保戸谷～

～磯子の線で境される西側の多摩丘陵地帯である。丘陵地西部の標高は130m～220mで、100m近い起伏量を示している。横浜市旭区を中心とした地区や、川崎市の西部には下位多摩面に相当する。丘陵上にかなりの平坦面が発達し、起伏量も30m～40mと小さい。傾斜地はおおむね8°以下の傾斜で、山頂平坦面の部分とともにそのほとんどは宅地と耕地に利用されている。近年これらの丘陵地を開削して造成した宅地の周縁部分においては、崖崩れなどによる被害が頻発している。

b) 下末吉台地

多摩丘陵東側には標高40m～60mの明瞭な台地が断続的に発達しているが、この台地面は川崎市高津区、横浜市港北区、神奈川区、保土ヶ谷区・西区・南区・中区など横浜市街地内の主要な高台はほとんど下末吉台地である。この台地面は、基盤の三浦層群の上に油成の下末吉層をのせ、その上に10m内外の関東ロームを被覆している。今日、台地面あるいはその周辺の緩傾斜面の多くは、宅地として開発利用しつくされている感が強い。

c) 多摩川低地

武藏野台地と多摩丘陵の間を流下する多摩川の氾濫原に形成された低地で、稻田堤から多摩川河口まで約27kmの間の地帯である。北西端の稻田より宿河原、下野毛・丸子・小向・大師などの付近には自然堤防が発達し、自然堤防上の微高地は古い集落や道路に利用されている。また自然堤防の間は、多摩川の旧河道などが低湿地としてみとめられる。北西端より新城までのほぼ11kmの間は、沖積地の幅が1～1.5kmと狭いが、新城の南東部からは急に広くなり、三角州の発達も顕著である。先端部の臨海埋立地は、大正初年着工されたもので、それ以降広大な面積を占めるにいたり、京浜工業地帯の中核部をなしている。しかし一方においてこの地帯は、近年地盤沈下による被害になやまされ、その沈下量も大きく、工場用地下水の採水や公害の問題とあわせて対策が望まれる。

1-3-2 三浦半島

三浦半島の大部分は、第三紀鮮新統の三浦層群と中新統の葉山層によって構成され、これらの地質構造に対応した適縦谷や山稜の配列がみとめられる。即ち半島はほぼ南北方向に突出するが、この主軸方向に平行する脊稜はすくなく、二子山(209m)・大楠山(242m)・武山(202m)と富士山(183m)などを中心とする3つの丘陵性山地はいずれも東西性を示している。またはげしい地盤運動により不安定なため、比高の不揃いな小平坦面が多く、これらは漸移的に低下することが多いので地形面の区分は困難である高位の多摩面に相当する160m以上・100m以上の面と、それ以下の低位面にわけられ、丘陵部では一般に120m～140mの地形面が広く分布している。第三紀鮮新統の逗子泥岩層からなる大楠山塊は、中新統の葉山層からなる二子山や武山山塊より高いのが目立つ。一方60m～80m・40m～60m・20m～40mの洪積台地と、10m前後の沖積世海岸段丘・波蝕台が半島東部と南半部の一部に発達している60m～80m面は、三浦市引橋付近と横須賀市小原台に主に発達する。40m～60m面は、みとめられるが、堆積面か侵蝕面か不明である。40m以下の面は主に三浦層群の波蝕台や海岸段丘面で、三浦市上宮田・高円坊・諸磯・昆沙門・池田付近によく発達している。10m以下は沖積世の波蝕台が主で、横須賀市長井地区と、三浦市西南部の海岸によく発達している。

2. 表層地質の区分とその性状等の概要

2-1 地質区分

神奈川県の地質は地形によく反映している。県の土台ともいえる古い地質は小仏、丹沢、三浦半島に分布し、岩石山地をなしている。県西部の湯河原、箱根の第四紀火山は岩石山地の上にのっかって、広い裾野をひろげている。県内の平坦地は第四紀になって生れたものであるが、標高の高い方から低い方にむかって、丘陵、台地、段丘、平野などを認めることが出来、地形の侵蝕もこの順に少なくなっている。これらの地形の生れた年代も、この順で若くなっている。

このようなことから、神奈川県を次のような大まかな地形に区分し、それぞれの地域の地質概要を述べることにする。

〔岩石山地〕小仏山地、丹沢山地、足柄山地、三浦半島

〔火山山地〕湯河原火山、箱根火山

〔丘陵〕多摩丘陵、大磯丘陵、関本丘陵

〔台地〕下末吉台地、宮田台地、相模野台地、伊勢原台地

〔盆地〕秦野盆地

〔段丘〕相模川、道志川などに沿って分布する河岸段丘、三浦半島、大磯丘陵の海岸に沿って分布する海岸段丘

〔平原〕相模平野、足柄平野、多摩川低地

2-1-1 岩石山地

2-1-1-a 小仏山地（白亜紀～古第三紀層）県北部で相模川に沿うように、白亜紀末ないし古第三紀層と推定されている海成層の小仏層群が分布している。硬い黒色の頁岩、砂岩の互層よりなり、一部に礫岩がはさまれている。地層の走向は北西～南東で、強く褶曲し、地層の上下の判定すら容易でない。秩父山地の古生層と調和した構造をとり、本州弧の帶状構造を構成している。頁岩の部分は千枚岩化しているところが多い。

2-1-1-b 丹沢山地（新第三紀中新世）中新世初期から中期にわたって堆積した、主に海底火山の噴出物よりなる緑色の丹沢層群が丹沢山地を構成している。小仏層群とは断層で接している。

丹沢山地の中央部には、丹沢層群を貫いてそれらに熱変成作用を与えている石英閃綠岩体が南北6km、東西20kmの楕円形状に露出している。石英閃綠岩に接する丹沢層群は硬い緻密なホルンフェルスに変化している。石英閃綠岩の南側の丹沢層群は角閃片岩相から緑色片岩相におよぶ結晶片岩となっている。

丹沢層群は火山角礫岩、凝灰角礫岩、凝灰岩などの水中火砕岩よりなり、泥岩、石炭岩などの堆積岩類は非常に少ない。丹沢層群の厚さは約10,000mと見積られている。

石英閃綠岩の貫入によって、丹沢層群はドーム状の構造をなしており、ドームの中央部により古い時代に堆積した地層が分布し、外側にむかって若い時代の地層が分布する。

丹沢層群は石英閃綠岩の熱的影響を受けない部分も、沸石類が形成されるような低温低压の変成作用を受けている。

2-1-1-c 足柄山地（新第三紀鮮新世）丹沢山地の南側で、神縄逆断層で丹沢層群に接しているのが足柄山地を構成する足柄層群である。足柄層群は主として礫岩、砂岩よりなり、礫の大部分は丹沢層群の変成岩類、およびそれを貫く石英閃綠岩である。足柄層群は箱根火山の基盤でもあり、大磯丘陵の南縁部

にも露出している。

2-1-1-d 三浦半島（新第三紀中新世-鮮新世）三浦半島には新第三紀の海成層が広く分布しているが、中新世初期の葉山層群と鮮新世の三浦層群とに大別される。

葉山層群は凝灰質の泥岩、砂岩、それらの互層よりなり、塊状で硬いところも多い。葉山町から衣笠にわたる地域と武山を含み北西-南東の地域の二ヶ所に分れて分布している。衣笠付近の葉山層群を貫いて蛇紋岩の小貫入岩体が幾つか知られている。

三浦半島は不整合に葉山層群をおおつていて、三浦層群の最下部には基底礫岩がある。三浦層群は泥岩、砂岩およびそれらの互層よりなり、新鮮な露頭では淡青灰色を呈している。葉山層群ほど硬くはないが緻密で、節理がよく発達している。

2-1-2 火山山地

2-1-2-a 湯河原火山、神奈川県と静岡県の境界にまたがって湯河原火山がある。広い火山山麓は静岡県函南町方面に分布しているが、神奈川県側は深く侵蝕されたカルデラである。湯河原温泉は湯河原カルデラのほぼ中央にあり、そこには湯河原火山のマグマが固結したと推定される多数の岩脈が認められる。湯河原火山の基盤は中新世初期の海底火山の噴出物よりなる湯ヶ島層群と、それを不整合におおう鮮新世末期の天照山玄武岩類である。湯ヶ島層群は激しい熱水変質作用を受けて、暗緑色緻密な岩石に変質している。天照山玄武岩類は陸上に形成された火山体の一部分であり、多数の溶岩流、火碎岩類の互層よりなるが、熱水変質作用は余り著しくない。これらの地層をおおつて湯河原火山の安山岩類が噴出し、かつては円錐形の成層火山体であったと推定されている。安山岩質溶岩と火碎岩類の互層よりなる。火山活動の末期に大水蒸気爆発によって、火山体の中央部が崩かいし、カルデラが形成された。

2-1-2-b 箱根火山、湯河原火山の噴火が終ると間もなく箱根火山の噴火がはじまり、湯河原火山の北側に雄大な成層火山箱根が形成された。箱根火山の噴火は約40万年前から始まった。箱根火山の基盤として、湯ヶ島層群、早川凝灰角礫岩層（鮮新世）、須雲川安山岩類、および足柄層群が認められている。箱根火山は三重式の火山であり、古期カルデラ、新期カルデラ、および中央火口丘よりなる。現在の芦の湖は新期カルデラ内に形成されたカルデラ湖である。箱根カルデラは須雲川および早川の溪流によって深く刻まれており、両溪流に沿って基盤岩類が露出している。箱根古期外輪山は主に玄武岩質ないし安山岩質の溶岩および火碎岩類よりなり、新期外輪山は安山岩質ないし石英安山岩質の溶岩流より出来ている。新期カルデラ形成のときに流出した軽石流はカルデラの低いところからあふれ出して、四方に流出し、その一部は関本丘陵や、箱根東麓の丘陵地を形成した。中央火口丘は神山のみが成層火山であるが、他は粘性の強い溶岩円頂丘である。

2-1-3 丘陵

2-1-3-a 多摩丘陵、多摩川と境川との間にある標高70m～100mの波状丘陵が多摩丘陵である。丘陵の山頂部を連ねる切峰面から丘陵の原平坦面を推定することが出来るが、無数の侵食谷によって複雑な波状丘陵となっている。丘陵の下部には三浦層群が分布し、その上に中部洪積統の屏風が浦層（横浜付近）、オシ沼砂礫層（多摩丘陵）の海成層があり、更にその上を多摩ローム層がおおっている。

2-1-3-b 大磯丘陵、相模平野と足柄平野を東西に分けているのが大磯丘陵である。丘陵は西側で高く、標高300mに達し、東側の相模平野に向ってゆるく傾斜している。丘陵の西側は国府津-松田断層によって切断され、北側は渋沢断層によって絶たれる。大磯丘陵の基盤岩類として、丹沢層群、足柄層群

に相当する地層が丘陵の海岸に沿う部分や国府津一松田断層に沿う部分に露出している。丘陵西部では基盤岩類の上に中部洪積世の国府津礫層が不整合に重なる。国府津礫層は箱根古期外輪山活動時の巨大な火山岩礫を多数含み、古酒匂川の扇状地堆積物と考えられる。国府津礫層の厚さは約200mであるが、東の二ノ宮付近では主にシルト層よりなる海成の二ノ宮層に移化する。丘陵北部では陸成層の土沢層が直接基盤岩の上に堆積している。土沢層と二ノ宮層とはほぼ同時代の地層と考えられる。丘陵東部では下末吉層および下末吉ローム層に対比される吉沢層および吉沢ローム層が分布している。大磯丘陵は多摩丘陵に比較して、火山灰、火山礫などの供給源である箱根火山に近いため、一般に火碎物質の粒度は粗く、透水性も悪くはない。

2-1-3-c 関本丘陵、箱根新期外輪山のカルデラ形成に先だって噴出した軽石流の一部が矢倉沢峠を越して狩川沿いに流下し、関本丘陵や小田原市久野付近の丘陵を形成した。関本丘陵は多摩丘陵や大磯丘陵よりはずっと新らしく、今から数万年前（下末吉ローム期）の産物である。

2-1-4 台地、今から数万年前のリスーザルム間氷期に、海面が現在より45m程高くなった。このときに行なわれた海進によって、下末吉台地、三浦半島の宮田台地、小原台地、大磯丘陵東部などの海食台地が形成された。海食台の上には下末吉層、宮田層、吉沢層などと呼ばれている砂礫層が堆積し、海退と共にその上を下末吉ローム層がおおった。その後、この海退がしばらく停滞し、相模川、多摩川などがひろい氾濫原をつくり相模野台地、伊勢原台地として残るような平坦地が形成された。相模野や伊勢原の平坦地の上には武藏野ローム層が堆積した。

2-1-5 盆地、丹沢山地と大磯丘陵にはさまれて秦野盆地がある。丹沢から流下する四十八瀬川、水無川などによって作られた複合扇状地で、盆地内の基盤は地表から150m位の深さにあると推定される。扇状地礫層は武藏野ローム層の一部、および立川ローム層によっておおわれ、ローム層の厚さは20~25mである。渋沢断層によって、秦野盆地が形成されはじめたのは今から数万年前からと考えられる。

2-1-6 段丘、相模川、道志川、中津川などの河川に沿って2~3段の河岸段丘が形成されている。河岸段丘の上位のものは立川ローム層によっておおわれているが下位のものにはローム層がのっていない。立川ローム層の堆積した時期はヴュルム氷期に対応する。大磯丘陵二の宮付近あるいは三浦半島の沿岸部に高さ数mから20mにわたって海岸段丘が形成されている。最近数1000年の地殻変動の指示者として注目されている。

2-1-7 平野、低地

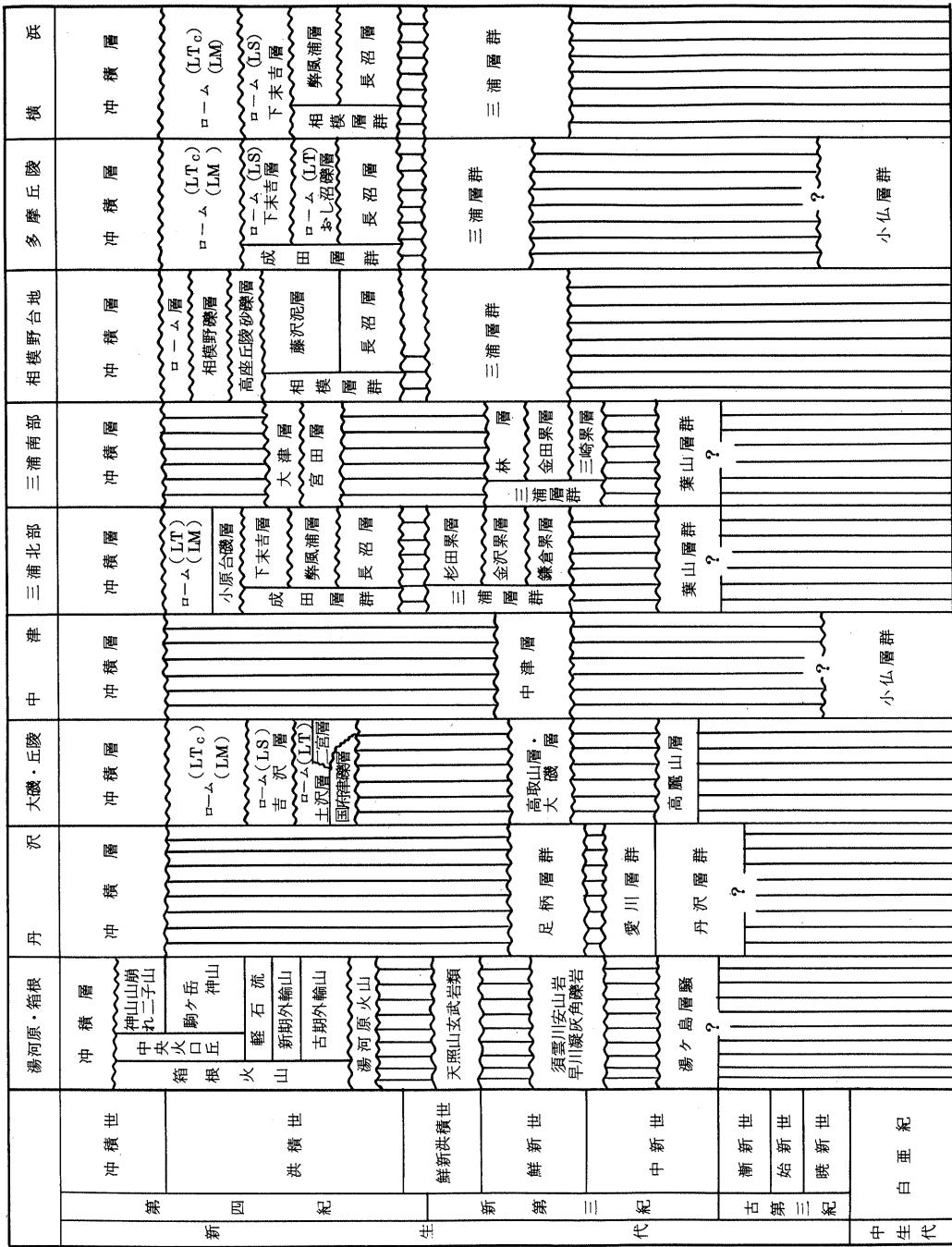
相模平野、足柄平野は相模川、酒匂川によって運搬された砂礫層が厚く堆積し、地下水の重要な貯留層の働きをなしている。平野の基盤はヴュルム氷期の海退（80~100m）によって現在の平野の地下80~100m付近にある。この深さは沖積層の下部を指示しているだけで、平野砂礫層を支える岩盤の深さを指示しているわけではない。相模、足柄両野において、地表から数mないし20m位の深さのところに厚さ1mないし数mの泥炭層あるいは腐植質層があり、このようなところでは水質が悪く、地下水は飲用にならないことが多い。

多摩川低地は砂層、泥層よりなる多摩川の三角州堆積物である。上流に移るにしたがって礫層が増し、地下水井が多くなる。

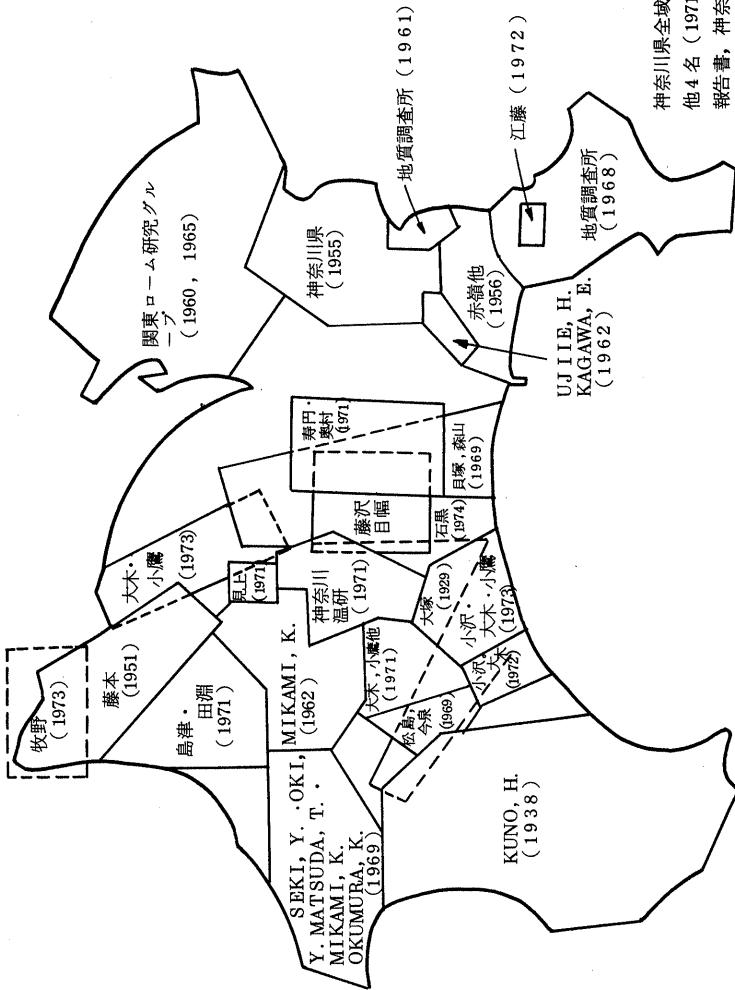
相模平野の平塚から厚木にわたり、揚水量の多いところでは、近年地盤沈下が著しく、その対策が急がれている。同様な問題は多摩川低地、横浜の低地でも発生している。

大木靖衛、小鷹滋郎（神奈川県温泉研究所）

神奈川県の地質年代対比表



表層地質参考資料分布図



神奈川県全域の地質図としては、見上敬三
他4名(1971)、神奈川県地盤地質調査
報告書、神奈川県がある。

3. 土壤統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要

<総 説>

神奈川県の土壤は、大分類（土壤群）10、中分類（亜群）13、小分類（土壤統群）27に分類される。土壤の成り立ちとその分布は、地形や地質、母材との関連がまとめられる。その概要は下表に示すとおりである。

土壤概要表

土壤の種類（土壤群）	分布（地域名）	地形	母 材	土地利用
岩 石 地	三浦半島	ほび平地 (島 輿)	水成岩	
岩 屑 土	丹沢・箱根山地	山 地	{ 緑色凝灰岩 火 山 岩	
未 熟 土	湘南海岸	平 坦 地	砂	林地・畠
黒 ボ ク 土	多摩丘陵	丘 陵 地	火 山 灰	林地・畠
	三浦半島（南部）	平 坦 地	火 山 灰	畠
	大磯丘陵	丘 陵 地	火 山 灰	林地・樹園地
	相模原台地	台地(含低地)	火 山 灰	畠地
	秦野盆地	平 坦 地	火 山 灰	畠地
	丹沢山地（南部）	山 地	火 山 灰	林地・畠地
	箱根山地	山 地	火 山 灰	林地
	三浦半島	丘 陵 地	水 成 岩	林地・畠地
褐 色 森 林 土	大磯丘陵	丘 陵 地	砂 磕 層	林地・樹園地
	丹沢山地	山 地	{ 深 成 岩 綠色凝灰岩	林地
	箱根山地	山 地	火 山 岩	林地
	箱根山地	山地(山ろく)	砂 磕 層	樹園地
赤 黄 色 土	多摩川・相模川	沖積低地	砂 磕	水田・畠地
褐 色 低 地 土	酒匂川流域			
	境川・鶴見川流域	沖積低地	砂 泥	水田・畠地
	多摩川・相模川			
灰 色 低 地 土	酒匂川流域	沖積低地	砂 磕	水田・畠地
	境川・鶴見川流域	沖積低湿地	砂 泥	水田
	相模川・酒匂川流域	沖積低湿地	砂 磕	水田
グ ラ イ 土	鶴見川・相模川流域	沖積低湿地	含腐植質砂泥	水田
泥 炭 土				

これによると、本県土壤の特徴はその大部分が富士あるいは箱根火山の影響を強くうけており、黒ボク土壌が台地および丘陵地から山地にかけて広く分布していることである。褐色森林土壤は、丘陵地および山地

に認められ、その土壤タイプは水分環境等立地に応じて山地の尾根から山ろく部におよぶ広い分布パターンを示している。河川の流域には、低地土壤が分布し、その分布パターンにはそれぞれの特徴がある。すなわち、相模川流域はその上中下流域の地形区分との関連でそれぞれ褐色低地、灰色低地土壤（沖積低地：乾田）グライ、黒泥、低位炭土壤（沖積低湿地：湿田）褐色低地、灰色低地土壤（沖積低地：乾田）の傾向がみとめられる。酒匂川流域は扇状地からなり、砂礫層を伴う土壤の出現が多く、一方、黒泥土壤等の存在しないことが特徴である。以上について、各地域ごとに述べればつきのとおりである。

＜細説＞

3-1 山地の土壤

本県の山地は、丹沢山地と箱根山地の2つに分けることができる。

3-1-1 丹沢山地

本山地は県の西北部に位置し、蛭ヶ岳、丹沢山、桧洞丸、大室山等によって構成され、その中心部の標高は1,600～1,200m内外である。山地南線には、火山噴出物に由来する黒ボク土壤および淡色黒ボク土壤が広く分布し、秦野盆地や箱根山地につづいている。本土壤には、ヒノキ、スギの人工林が多く、前者は生産力が「中庸乃至やゝ高く」後者は「中庸からやゝ劣る」によよんでいる。本山地の全域には、緑色凝灰岩あるいは深成岩（石英閃綠岩）を母材とする各種の褐色森林土壤が標高、傾斜、土地の乾湿、植生、気象等立地環境に応じて規則的な発達が認められる。山地の尾根筋あるいは支尾根は風当たりが強く、土壤水分の供給が少ないため、乾性褐色森林土壤が分布している。本土壤にはマツ類、広葉樹などの天然林が多く、生産力はやゝ劣っている。山腹上部の緩やかな尾根筋には褐色森林土壤BⅡ（やゝ乾燥型）が分布し、土地利用は人工林のヒノキが主で生産力は中庸である。山腹斜面には褐色森林土壤BⅠ（適潤型）が広く分布している。本土壤は土壤水分の供給が比較的良好であるため、スギ、ヒノキ等（人工林）の適地となり生産力が高い。山腹下部あるいは、沢筋には湿性褐色森林土壤が散在的に分布している。本土壤は理学性が良好であり、かつ、土壤養分や水分供給力が大きいので、スギ（人工林）の適地となり、生産力は高い。標高が1,500m前後の蛭ヶ岳、丹沢山等の緩斜面には、褐色森林土の暗色系土壤が局部的に分布し、植生は天然のブナ林がみとめられる。その他、岩屑性土壤は尾根から斜面にかけての変換点で認められ、丹沢山地の中央部に小面積で散在している。

3-1-2 箱根山地

本山地は、県の西南部に位置し、三重式火山として中央火口丘、新期外輪山および古期外輪山により構成されている。中央火口丘から、明神岳、明星ヶ岳、白銀山等にかけての山地中央部および足柄平野から南に伸びる相模湾沿いの山地周縁部には火山噴出物を母材とする各種火山灰土壤の分布が認められる。箱根山地の中央部には黒ボク土壤の分布が広く、土地利用はスギ、ヒノキ、マツの人工林が主体で、生産力は中庸からやゝ劣る程度である。また、芦ノ湖の北部には厚層黒ボク土壤が分布している。山地東部の周縁部（足柄平野、相模湾沿い）には各種の火山灰土壤が分布し、本県のみかん産地となっている。土壤の種類としては厚層黒ボク土壤、黒ボク土壤、粗粒黒ボク土壤、淡色黒ボク土壤等が主体をなし、柑橘の生産力はやゝ高いからやゝ劣るによよんでいる。山地周縁部（火山灰土壤）の内側には、火山噴出物を母材とする各種の褐色森林土壤がその立地環境に応じて北から南にかけて分布している。乾性褐色森林土壤は、尾根筋あるいは支尾根に分布し、風衝地が多く低くあるいはササ、スキなどの植生が認められる。褐色森林土壤BⅡ（やゝ乾燥型）は山腹の上部や緩やかな尾根筋に分布し、人工林としてヒノキの生産力は中庸である。褐色森林土

壤B I（適潤型）は山腹斜面に広く分布し、土壤水分の供給が良好であり、生産力が高い。相模湾沿い（小田原市根府川）には、洪積世堆積物よりなる赤色土壤が小面積分布しており、土地利用は柑橘で生産力は中庸である。その他岩屑性土壤は明神岳、明星岳、大涌谷、早雲山等において尾根から斜面部にかけての変換点で、崩壊地として小面積づつ認められている。

3-2 丘陵地の土壤

本県の丘陵地は多摩丘陵、三浦半島地域および大磯丘陵の3つに大別できる

3-2-1 多摩丘陵

この地域は県の東部（横浜、川崎地区）に存在する丘陵地帯で非固結火成岩を母材とする火山性風積土壤からなっている。土壤は厚層黒ボク土壤、黒ボク土壤および淡色黒ボク土壤が主体をなしている。土地利用は山林あるいは畑地が多く、生産力はやゝ劣る程度である。

3-2-2 三浦半島

この地域は県の東南部に突出する三浦半島からなっている。半島の北部中部地域には丘陵山地の尾根筋あるいは山腹上部に水成岩を母材とする乾性褐色森林土壤あるいは褐色森林土壤B II（やゝ乾燥型）が分布し、山腹から平坦部にかけては褐色森林土壤B I（適潤型）が分布している。土地利用林地が主体であり、生産力はやゝ劣るから中庸におよんでいる。半島の南部地域はほぼ平坦な台地地形よりなり、火山噴出物が厚く堆積し、厚層黒ボク土壤あるいは黒ボク土壤が分布している。土地利用は畑地が主体で、暖地野菜のダイコン、キャベツ、スイカの主産地として有名であり、生産力は高い。なお、本地域の丘陵部には深く開析された低地部に細粒グライ土壤、グライ土壤、粗粒グライ土壤および黒泥土壤等が分布している。土地利用は水田が主体であり、水稻の生産力は劣っている。岩石地は江の島、城が島等の一部が認められる。

3-2-3 大磯丘陵

本地域は県のほぼ中央部西よりの相模湾に面する丘陵地帯である。丘陵の南部地域には洪積世堆積物あるいは水成岩を母材とする褐色森林土壤B I（適潤型）同B II（やゝ乾燥型）同B III（下層砂礫層）の3土壤が分布する。土地利用型態は山林および樹園地（柑橘）等が主体で生産力は中庸である。丘陵の北部地域には火山噴出物が堆積しており、厚層黒ボク土壤、黒ボク土壤および淡色黒ボク土壤が分布している。土地利用は山林、柑橘、麦類、菜根菜等が主体であり、生産力は中庸乃至やゝ高い。丘陵の低地部には細粒グライ土壤の排水不良土壤が存在し、一部には細粒灰色低地土壤あるいは灰色低地土壤が分布している。土地利用は水田が主体であり、水稻の生産力はやゝ劣っている。

3-3 台地の土壤

県の中央部には相模原台地があり、北から南にかけて緩やかな傾斜を有するほぼ平坦な台地を形成している。本地域には火山噴出物が厚く堆積しており、土壤は主として厚層黒ボク土壤が分布している。本土壤は腐植含量が10～18%で比較的多く、粒径は中粒質であり、磷酸吸収力の大きいことが特徴である。また、台地を開析した低地部には排水不良の多質黒ボク土壤あるいは黒ボクグライ土壤が分布している。土地利用は前者が葉根菜、後者は水稻を主体とし生産力は「やゝ劣る」から「劣る」におよんでいる。なお、大磯丘陵と丹沢山地に接する秦野盆地には、火山灰土壤の厚層黒ボク土壤あるいは淡色黒ボク土壤が分布している。本盆地の土壤は相模原台地に比べて腐植含量が少なくかつ、粒径の粗いことが特徴である。

3-4 低地の土壤

低地土壤の分布は主要河川（多摩川、鶴見川、境川、相模川、酒匂川）の各流域に認められ、土壤統群は10種余におよんでいる。

3-4-1 多摩川流域

多摩川流域（川崎市）には排水良好の低地土壤が分布している。土壤の種類としては、粗粒褐色低地土壤、細粒灰色低地土壤、灰色低地土壤および粗粒灰色低地土壤等があげられる。土地利用は水田が主体であり、水稻の生産力はやゝ劣っている。

3-4-2 鶴見川流域

鶴見川の上流は多摩丘陵を深く開析し、その下流は東京湾に注いでいる。土壤は排水不良の細粒グライ土壤、グライ土壤、低位泥炭土壤あるいは黒泥土壤等からなっている。また、一部には排水良好の褐色低地土壤が分布している。土地利用は水田が主体であり、土壤は環元化が進行するため水稻の生産力は劣っている。

3-4-3 境川流域

境川は相模原台地と多摩丘陵を開析して南に流れ相模湾に注いでいる。本地域は北から南に伸びる細長い低地よりなり、土壤は火山灰を母材とする再積性の多湿黒ボク土壤および黒ボクグライ土壤が分布している。この他細粒グライ土壤、グライ土壤および黒泥土壤が分布している。土地利用は水田が主体であり、土壤は透水性が不良で還元化が進行するため水稻の生産力は低い。

3-4-4 相模川流域

相模平野の氾濫源である相模川は北から南に流れ相模湾に注いでいる。本流域の土壤は県下低地土壤の全てを包含し、上流域、中流域および下流域における土壤分布には地形との関連で一定の傾向が認められる。上流域沖積低地の土壤は褐色低地土壤、粗粒褐色低地土壤、細粒灰色低地土壤および粗粒灰色低地土壤からなっている。土地利用は水田が主体で、土壤は一般的に透水性が良好であり、水稻の生産力はやゝ高い。中流域は沖積低湿地に属し、細粒グライ土壤、グライ土壤、低位泥炭土壤および黒泥土壤等として排水不良土壤が分布している。土地利用は水田が主体で、土壤は透水性が小さく環元化が進行するため、水稻の生産力は劣っている。下流域は上流域と同様に沖積低地からなり、褐色低地土壤、細粒灰色低地土壤、灰色低地土壤および粗粒灰色低地土壤等が広く分布している。土地利用は水田あるいは畑地としての利用が多く、水稻あるいは葉根菜類の生産力はほど中庸である。なお、相模川の河口部には砂丘未熟土が相模湾沿い（藤沢市より大磯町にかけて）に発達し、山林あるいは畠地として利用されている。

3-4-5 酒匂川流域

県の西部大磯丘陵と箱根山地に囲まれる足柄平野にはやゝ急流の酒匂川が北から南に流れ相模湾に注いでいる。本流域の土壤分布の特徴は、下層に砂礫層を伴う土壤が多いこと、黒泥土壤および低位泥炭土壤の存在しないことである。上、中流域には褐色低地土壤、粗粒褐色低地土壤、粗粒灰色低地土壤および粗粒グライ土壤等下層に砂礫層を伴う土壤の分布が多い。下流域には透水性の小さい細粒グライ土壤およびグライ土壤が分布している。本流域の土地利用は水田が主体であり、一般に土壤は透水性が良好で、水稻の生産力は最も高い。

鎌田 春海（神奈川県農業総合研究所）

武田 正（神奈川県林業試験場）

4. 土地利用可能性分級等の概要

4-1 土地利用現況の概要

総 説

神奈川県は、総面積238,728ha（昭和47年10月11日）と全国で第5位の狭い県であり、国土面積の0.6%を占めるにすぎない。しかし、その土地利用状況をみてみると、県東北部において多摩川をはさんで東京都と接し、また従来より京浜工業地帯の核として発展してきたことによって、人口、産業の集中が進み、都市化現象が全県的に拡大していること、また本県は自然地理的にも、西部地域における山地、中央部の河川流域の低地、および台地、そして南部で太平洋に面し、南東部では丘陵地状の半島が突出しているなど多様性に富んだ地形を有している。このような社会的、自然地理的要因から土地利用の状態は非常に入り組んだものとなっている。

各利用形態別にその状態を大別してみれば農地約13%、林地約41%、宅地その他約46%になっている。

農地は31,400ha（47年）となっており、全国の農地率15%からみると低い比率であることがわかる。この農地を類別してみると、田9,800ha 31% 畑14,800ha 47% 樹園地6,740ha 22% 牧草地14ha 0.04%と、全国の類別比率それぞれ58%、24%、11%、7%と比較すれば、普通畑、樹園地の比率の高いことが特徴になっている。年間の耕地利用面積でみると、畠のうち、約86%を野菜が占め、畜産を除いた耕種に占める粗生産額も42%と高い比重となっている。また野菜栽培はビニールハウス等による資本集約的栽培も進み高い生産性を示しており本県農業の近郊農業としての特色を顕著に表わしている。県内農地の主な分布をみてみると、水田は県中央部の相模川流域の相模平野、県西部の酒匂川流域の足柄平野を中心に、多摩川、鶴見川の多摩丘陵に入り組んだ低湿地にみられる。普通畑は、秦野盆地、県中央部の相模台地（特に南部）、三浦半島南部及び多摩丘陵等の主に火山灰土壤の地域に分布している。果樹は柑橘が主で、栽培面積でみると果樹全体の74%を占めている。産地は、県西部の箱根火山の南東麓、丹沢山地、大磯丘陵等の南縁の標高200～300mの丘陵地に分布している。その他果樹としては、なし、梅、ぶどう等がそれぞれ各地で栽培されている。林地は約10万haと県面積の約40%前後となっている。本県の天然林は、クスギ、コナラ等を主とする夏緑広葉樹林が広い面積を占めて、常緑広葉樹が一部にみられる。人工林は、植林のもっとも盛んに行われているスギ、ヒノキを中心とし、マツ等がみられる。林地の分布はその大部分が県西部の箱根、丹沢山地で、平地林、多摩丘陵、三浦半島にみられるが、関東近県と比較すると狭い面積となっている。人工林率は44%となっており、さらに増加が計画されている。

これら農地や林地も、冒頭に述べたような都市化の進展によって、大きく影響を受けている。本県の人口は、昭和35年 344万人、昭和40年 443万人、昭和45年 547万人、昭和47年 591万人と年間約20万人を超える人口増加を記録している。これは、戦後今日まで高成長を続けてきた本県経済の誘引した労働力人口の流入、また事務所機能の集中している東京都への就業人口の受け皿となってきたことに大きな要因をみることができる。この人口増加の傾向は都市部の横浜、川崎地域から周辺部へと波及し、とくに県央地域においては、35年／40年比約44%増、40年／45年比約55%増と県全体の増加率、それぞれ28%増、23%増を大幅に上回る急激な増加をみせ、都市化の波及の激しさを示している。このような人口増加に伴って県央部以東を中心として、住宅地の団地的開発も進み、団地面積0.5ha以上の団地は、昭和40年以降48年9月末までに約1,110団地6,400ha余が完成または工事中となっており、こ

のほか、土地区画整理事業も広く行われている。また面積1,500m²以上の工場の昭和41年以降における立地も801工場1,117haとなっており、県内陸部への機械金属工業を中心の立地となっているため、臨海部の重化学工業の比重は大幅に低下している。

このような住宅地、工場地の拡大により、農地、林地は大量にかい廃転用されるに至っている。この状況を昭和47年と同40年の耕地面積で比較してみると、県全体で38%、19,500ha減と県総面積の8%に相当する面積である。地域的には、横浜、川崎地域、県央地域で特に著しく、約半分に減少している。林地面積も昭和30年から45年の間に約1万haと約10%の減少をみせている。

地域別概要

1. 横浜・川崎地域

この地域は、面積553Km²で県面積の約23%を占め、本県の経済、文化の中心地であり、横浜市は、県庁所在地として、各官庁会社等の事務所も集中している。

地形的には、ほとんどの全域が、標高差のあまりないゆるやかな丘陵地（多摩丘陵）となっており、北部の多摩川、鶴見川、帷子川、大岡川、柏尾川、西部の境川までの河川によって削られ、谷戸の入り組んだ複雑な地形をなしている。平地は、臨海部特に東北部の多摩川下流域及びその南部に広がっている。農地のうち水田は、これら丘陵地間の低地、特に鶴見川流域を中心に分布しているが、耕地面積でみると、田1,572ha 32%、畑3,092haで62.3%となっており、農地利用の主な形態は畑であることがわかる。このうち作付延べ面積割合でみると、野菜が61%をしめ、粗生産額でみても、県全体の野菜の粗生産額が20.6%であるのに対し、この地域の野菜29.2%と同様な傾向を示し、隣接する市街地住民への生鮮食糧供給源となっている。分布は内陸部の平坦な台地面に分布し、主要作物としては、キャベツ、ホウレン草、大根等葉根菜類が中心となっている。果樹は、カキ、ナシ等この地域北端部の多摩川沿いに栽培されている。林地は、市街地の中心付近まで入り込んだ台地の斜面などに比較的の残存しているほか内陸部の台地に針葉樹植林やコナラクヌギ等が畠地とともに残存している。

しかし、この地域の土地利用形態の中心は地目別土地面積でみても、昭和47年に宅地が約47%を占め、県平均の約28%を上回ることに示されているように都市的土地利用がされており、現在でも年間10万人を超える人口の集中が続いている。そのため、主に内陸部において現在も宅地開発が進んでおりこの地域北部に総面積2,530haに及ぶ港北ニューターンが計画され、南部では洋光台、港南台の2団地それぞれ207ha、299haが完成あるいは工事中であり、民間の住宅地開発も盛んに行われている。また、臨海部には重化学工業地帯が形成されてきた結果、自然海岸はほとんど埋立てられ、現在も、市街地内の住工混在を解決するための金沢地先埋立て660ha等が行われている。この臨海部の工場立地が限界に達してきたことにより、内陸部において立地が進んでおり、住宅地の開発と相まって林地、農地のかい廃が進んでいる。

2. 三浦半島地域

この地域は、太平洋に突出し、西海岸を相模湾、東海岸を東京都に面している三浦半島を中心とした面積204Km²の地域である。半島の南部を除き、中部以北は丘陵地となっており、高度は頂部で約150m～240mとなっている。南部は高度60m～80mの台地状となっており、海岸部分は、瀬戸内海地形等

出入りに豊む海岸も見もみられる。農地に関しては、耕地面積の 6.8 % が畠であり、作付延べ面積割合でみると 8.3 % が野菜となっており、高い比重を占めている。この地域の野菜栽培は、南部地域を中心て温暖な季候を利用した高度な集約的輪作による大型露地栽培が行われており、県下でも特色のある地域となっている。主要作物は、三浦ダイコン、三浦スイカのように商標をもつて出荷されているものとキャベツの 3 種で、この地域の野菜面積の 9.1 % を占めている。林地は、この地域が比較的起伏のある丘陵地台地状をなしているため、都市近郊にもかゝわらず、落葉広葉樹の中に自然林としての常緑広葉樹林もみられ、そのため 5 ケ所の近郊緑地保全地域約 3,223 ha が定められている。この地域は、中央部が丘陵地であるため、海岸沿いの周辺部から都市化が進んできた。東京湾沿いは、臨海部に京浜工業地帯の南端部として造船、輸送用機械等の産業がみられる。住宅地も横須賀市の東京湾沿い、北部の相模湾側の鎌倉、逗子市などで広がり、現在でも昭和 46 年度の都市計画法による開発許可面積件数は 155.59 ha 117 件、同 47 年度 85.56 ha 103 件と宅地開発が進んでいる。一方、この地域は古都鎌倉、そして、出入に富む海岸と砂浜等も半島南部を中心に分布しているため、首都圏近郊の観光地ともなってきた。

3. 湘 南 地 域

相模湾沿いに広がるこの地域は、面積 213 km² で、その南東部はこの地域のほとんどを占める相模川の沖積低地で、西部は大磯丘陵の南部になっている。平坦地が多いために、宅地、耕地利用が多く、林地は、海岸沿いの砂丘地帯のクロ松植林と大磯丘陵にみられる程度になっている。耕地の利用状況は、地域面積の 2.7 % をしめており、田の利用状況は、相模川、金目川の流域部分のうちこの地域の中部以北に主に分布しており、面積 2,282 ha で、耕地面積の 4.0 % で県下ではもっとも高い利用率となっている。

畠地は耕地面積のうち 5.2 % を占め、東北部の丘陵地南端、西部の丘陵地に主に分布し、露地栽培のキャベツ、ニンジン等の栽培が行われ、また沖積地帯の市街地外縁ではネギ、ダイコン等が栽培されている。しかし、この地域の野菜栽培の特徴は、ビニールハウスによる方式が盛んで、県下の約 4.0 % を占め、トマト、キュウリ等が栽培されている。住宅地は、この地域東北部の藤沢市北部と茅ヶ崎市にまたがる土地区画整理事業 (425 ha) が行われている他は、現在余り大規模な宅造は行われていないが、南部を東西に通る東海道本線の沿線には内陸部まで広がっており、東京、横浜等への通勤人口のベッドタウン的性格をもって、さらに内陸部へ拡大している。

また工場の立地も進んでおり、40 年以降 47 年までに 1,500 m² 以上の工場が東部藤沢市の東海道沿線、相模川沿岸付近を中心に 98 工場 156 ha が立地し、県央地区と並ぶ内陸型工業の中心になっている。

4. 県 央 地 域

この地域は、県の中央部及び中央部北部に位置し、近年都市化の状況の最も著しい地域となっている。面積 547 km² で地形的には、東部の相模原台地から、相模川流域の低地をはさんで、西部の丹沢山地、秦野盆地にいたる地域である。田は、この地域中南部の相模川及び金目川の流域の低地を主に 3,198 ha と耕地面積の 3.3 % を占めており、湘南地域北部と継続した水田地帯を形成している。畠地は、5.4 % 5.256 % と相模原台地（特に南部）、相模川の低地との間の低い台地面、丹沢山地の周辺の起伏のゆるやかな地域、秦野盆地に分布している。主作物は、サトイモ、キャベツ、ダイコン等各種の野菜が栽培されている。

果樹は、みかん、なし、ぶどうなどが秦野市、伊勢原市などで栽培されている。林地は、西部の丹沢山地東及び東南斜面、山麓に広範囲に広がっている。この地域は、スギ、ヒノキ植林地がまとまって広い面

積を占めているほか、若干の針葉樹の自然林及びブナ林、その他の広葉樹がそれぞれ分布している。東部斜面にも、開発のための破壊が部分的に見られてはいるが、残されたその一部は近郊緑地保全地域に指定されている。この地域は、最初にも述べたように、都市化の勢いが激しく、それを国勢調査における人口集中地区の変化でみると、昭和40年と45年間の増加率でみても県平均が5.4%増であるのに対し、この地域は15.3%増と急激に増加している。工場の進出もさかんで、昭和40年以降47年までの間に405工場610haが立地し、工場団地も6団地約413haが造成されている。

5. 県西地域

自然地理的にみると、北部から丹沢山地の南斜面、酒匂川の沖積地をはさんで南部の箱根山地、真鶴半島、そして東部の大磯丘陵までの地域で、山地部が多く、山地のしめる割合は85%にたっている。この地域の農地利用の特徴は果樹園（柑橘が主）で、利用率は耕地面積の58% 4,070haに達している。畠地は非常にわずかで、田は酒匂川下流域を主に29% 2,055haが分布し、県央、湘南地域につぐ規模になっている。柑橘の分布は、足柄平野をとりめのように、箱根山地の南東斜面、丹沢山地大磯丘陵の南西斜面に栽培されている。林地の分布をみてみると、真鶴半島には比較的自然林の形態で残存しており、常緑広葉樹林（スダジイ、タブリ）がみられる。

箱根山地はそのほとんどの地域が富士、箱根、伊豆国立公園に指定され、古くから温泉観光地として利用されてきたため、開発も部分的に進んでいる。山頂部、稜線付近には、ブナ林が分布し、斜面山麓部にはスギ、ヒノキ植林、広葉樹林が混在している。また、箱根外輪山の外側にはススキ等の草原地が広面積にみられる。丹沢山地南斜面部は、稜線上から700~800m付近まで大規模なブナ林が発達している。斜面部には、クヌギ、コナラ等の夏緑広葉樹林が広く分布し、スギ、ヒノキ等の植林も行われている。

この地域の都市化はそれほど急激ではなく市街地は足柄平野の小田原市が、旧来からの城下町として発展している。工場地は酒匂川流域部に多く、昭和40年以降47年までに45工場66haが立地している。

6. 県北地域

丹沢山地の北面から道志川、相模川上流間のゆるやかな山地をはさみ、県最北部の小仏山地までの地域で、山地率は92%と平坦部はほとんどみられない。そのため田は、ほとんどみられず、畠が相模原台地北端部、上記2河川の流域に若干みられるにすぎない。主作物はキュウリ、ヤマイモなどで、相模川上流に設けられた人造湖である相模湖、津久井湖等観光地でみやげ物とされているなど観光農業化も進み、園芸ランドなども設けられている。又、山地部を中心に茶、養蚕の振興がはかられており、一方栗の栽培も行われている。林地は、小仏山地及び丹沢山地の700m付近までは、スギ、ヒノキを主にアカマツ等の植林が行われており、広い面積を占める。クヌギ、コナラ林とともに分布している。丹沢山地のうち、この地域に含まれる北面の稜線付近には、ブナ林の広い分布がみられる。

鈴木恒久（神奈川県企画調査部企画課）

4-2 土地利用可能性分級等の概要

神奈川県の土地利用可能性分級は標高・傾斜・土壤生産力を組合せ分級すると1類地より8類地に区分することができる。各類地の分布状況は2類地が最も広く県全体の35%を占め、ついで4類地、3類地の順でそれぞれ約20%を占めている。また5類地、8類地がそれぞれ約10%でこれにつき、7類地、1類地、6類地は数%以下となっている。

各類地の分布は低地、台地では単調であるが、丘陵地から山地にかけては土壤や傾斜により複雑な分布を示している。

なお、各類地における主要地域の特徴は3-3表のとおりである。

各類地の分布状況について述べればつきのとおりである。

1 類 地

この類地は三浦半島地域に最も広くその57%を占め、ついで横浜川崎地域の27%、湘南地域の10%となっている。その他の地域はいずれもわずかである。

三浦半島地域では、鎌倉市、横須賀市、逗子市、葉山町などの低地に分布している。また横浜川崎地域では、横浜市南部の分布が多い。湘南地域では藤沢市、大磯町、二宮町に分布している。その他の地域では、小田原市、津久井町、愛川町、城山町などに散在している。

この類地は、400m以下(H_1)のほど平坦地(S_1)からなり土壤生産力可能性分級(以下P分級と称す)の高いもの(P_1)からなっている。

2 類 地

この類地は、横浜川崎地域と県央地域に広く分布し、本類地の約60%を占めている。また湘南地域に約20%が分布するほか、三浦半島地域・県西地域・県北地域にわずかに分布する。

横浜川崎地域と県央地域では、横浜市、川崎市、相模原市、海老名市、座間市、大和市、綾瀬町の大部分が2類地によって占められている。

また厚木市、伊勢原市、秦野市、愛川町にも分布している。湘南地域では藤沢市、茅ヶ崎市、平塚市、寒川町に広く分布するほか、大磯町、二宮町にもみとめられる。三浦半島地域では三浦市に広く分布しているほか横須賀市、鎌倉市にもみとめられる。このほか逗子市、葉山町にもわずかにみとめられる。県西地域では小田原市、真鶴町に分布しているほか南足柄市、中井町、大井町、湯河原町などにもわずかにみとめられる。県北地域は城山町に分布するほか津久井町、相模湖町でわずかにみとめられる。

この類地は400m以下(H_1)のほど平坦地($S_1 \sim S_2$)でP分級が高く($P_1 \sim P_2$)、台地から丘陵地にかけて広く分布している。

3 類 地

この類地は、県西地域に多く、本類地の約30%を占め、ついで県央地域、横浜川崎地域にそれぞれ約20%、三浦半島地域、湘南地域に約10%分布するほか県央地域でわずかにみとめられる。

まず県西地域では開成町、中井町、大井町、真鶴町に広く分布している。また小田原市、箱根町、湯河原町のほか松田町、山北町にもわずかにみとめられる。県央地域では伊勢原市、厚木市、秦野市、座間市、愛川町、綾瀬町に分布するほか、大和市、海老名市、相模原市、清川村でわずかにみとめられる。つぎに横浜川崎地域、三浦半島地域、湘南地域では、鎌倉市、逗子市、三浦市、横須賀市、葉山町、藤沢市、茅ヶ崎市、平塚市、大磯町、二宮町、寒川町などにそれぞれ分布している。

県北地域では城山町、相模湖町に分布するほか津久井町、藤野町でわずかにみとめられる。

この類地は400m以下(H_1)の平坦地から緩斜面($S_1 \sim S_2$)にあり、P分級が高いものから低いもの($P_1 \sim P_3$)におよび、県下全域に広く分布している。

4 類 地

この類地は、県西地域に本類地の約50%が分布している。ついで、県北地域に23%、県央地域に17%、三浦半島地域に8%が分布し、横浜川崎地域・湘南地域にはわずかしかみとめられない。

県西地域では、湯河原町、箱根町に広く分布している。また南足柄市、小田原市、松田町、山北町、大井町、真鶴町に分布するほか中井町にもわずかに分布している。県北地域では、藤野町、相模湖町に広く分布するほか津久井町、城山町にもみとめられる。県央地域では伊勢原市、愛川町、清川村に分布しているほか秦野市、厚木市でわずかにみとめられる。三浦半島地域では、横須賀市、逗子市、葉山町での分布が多い。横浜川崎地域、湘南地域では、横浜市、平塚市、藤沢市、寒川町、二宮町でわずかにみとめられる。

この類地は丘陵地から山地($H_1 \sim H_2$)にかけて分布し、その大部分がやゝ急斜面($S_3 \sim S_4$)にあり、林地のP分級は高いものから低いもの($P_1 \sim P_4$)によよんでいる。

5 類 地

この類地は県西地域に、本類地の60%が分布している。ついで県北地域に26%、県央地域に13%が分布している。

県西地域では山北町に広く分布している。ついで小田原市、松田町、箱根町に分布が多い。また湯河原町、大井町にも、わずかにみとめられる。県北地域では津久井町に広く分布しているほか、藤野町、相模湖町にもみとめられる。県央地域では清川村、秦野市に分布しているほか、伊勢原市、厚木市、愛川町にもわずかにみとめられる。

この類地は主として山地(H_2)に分布し、その大部分が急斜面($S_3 \sim S_5$)にあり、林地のP分級が高いものから低いもの($P_1 \sim P_4$)によよんでいる。主として丹沢山地に広く分布している。

6 類 地

この類地は最も少なく、その55%が県西地域に分布し、ついで県北地域25%、県央地域に15%がみとめられる。県西地域では箱根町、山北町に分布しているほか、南足柄市にわずかにみとめられる。県北地域では津久井町に県央地域では厚木市と清川村に分布している。

この類地は、丹沢山地、箱根山地(H_2)に散在し、その大部分が急峻($S_4 \sim S_5$)でP分級が極めて低い(P_5)ものからなっている。

7 類 地

この類地は、県央地域に広く分布してその50%余を占め、ついで県西地域に40%、県北地域に約10%がみとめられる。

県央地域では清川村に広く分布し、ついで秦野市に多く、そのほか厚木市、伊勢原市にもわずかにみとめられる。県西地域では、山北町にその大部分が分布しているほか、松田町、箱根町にもわずかに分布している。また県北地域ではその大部分が津久井町に分布している。

この類地は、400m以上(H_2)の急峻地(S_6)に分布し、林地のP分級は高いものから極めて低いもの($P_1 \sim P_5$)によよんでいる。主として丹沢山地の中央部に分布している。

8 類 地

この類地は、横浜川崎地域での分布が多く、その他藤沢市、平塚市、小田原市等の市街地や工場などによつて占められている。また芦ノ湖、相模湖等の湖沼や相模川、酒匂川、鶴見川等の河川とその河川敷等が含まれている。

武 田 正（神奈川県林業試験場）

鎌 田 春 海（神奈川県農業総合研究所）

B. 統計の部

1. 土地利用現況

1-1 土地利用現況別市町村別内訳

区分 市 町 村	農地								草地			
	普通田	特殊由	計	普通畑	牧草畑	樹園地			農地計	利用草地		未利用草地 (原野)
						果樹園	桑茶園	その他		永年牧草地	自然草地	
総 計	8,796	5	8,801	14,348	488	5,369	1,364	6,733	31,370			
市部 計	8,403	5	8,408	11,565	329	3,390	716	4,106	24,408			
郡部 計	1,393	—	1,393	2,783	159	1,979	648	2,627	6,962			
郡 部												
三浦郡	42		42	39	—	4	1	5	86			
高座郡	338		338	553	22	25	3	28	941			
中郡	114		114	243	44	257	12	269	670			
足柄上郡	666		666	578	36	913	197	1,110	2,390			
足柄下郡	8		8	0	—	574	36	610	618			
愛甲郡	132		132	322	7	58	109	167	628			
津久井郡	93		93	1,048	50	148	290	438	1,629			
市 部												
横浜市	1,259	5	1,264	2,608	22	100	22	122	4,016			
川崎市	308	—	308	464	2	171	9	180	954			
横須賀市	283	—	283	468	6	37	3	40	797			
平塚市	1,190	—	1,190	877	52	96	5	101	2,220			
鎌倉市	43		43	93	2	5	1	6	144			
藤沢市	437		437	975	56	48	16	64	1,532			
小田原市	985		985	237	8	1,618	122	1,740	2,970			
茅ヶ崎市	293		293	462	17	20	3	23	795			
逗子市	2		2	13	—	0	0	0	15			
相模原市	170		170	1,123	27	105	244	349	1,669			
三浦市	231		231	864	—	39	0	39	1,134			
秦野市	339		339	1,408	25	186	23	209	1,981			
厚木市	940		940	804	21	69	181	250	2,015			
大和市	46		46	144	20	10	2	12	222			
伊勢原市	841		841	580	57	289	25	314	1,792			
海老名市	514		514	261	8	11	6	17	800			

(単位: ha)

林												宅	公共用地 その他	合計			
人工林			天然林			未立木地			除地	林地							
針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	計	採して放牧するに利用地	その他	計									
39,424	779	40,203	714	49,291	50,005	882	4,341	5,223	1,494	96,925	44,428	66,005	238,728				
14,873	428	15,301	22	15,339	15,361	228	1,884	2,112	431	33,205	40,643	53,796	152,055				
24,551	351	24,902	692	33,952	34,644	654	2,457	3,111	1,063	63,720	3,785	12,206	86,673				
274	—	274	—	413	413	24	95	119	0	806	241	567	1,700				
116	—	116	—	107	107	—	13	13	3	239	754	1,612	3,546				
192	—	192	—	478	478	7	32	39	—	709	426	811	2,616				
8,309	188	8,497	371	14,085	14,456	215	644	859	596	24,408	671	2,758	30,227				
3,515	80	3,595	21	5,299	5,320	385	569	954	240	10,109	768	2,674	14,169				
3,235	9	3,244	214	4,340	4,554	4	416	420	72	8,290	415	1,273	10,606				
8,910	74	8,984	86	9,230	9,316	19	688	707	152	19,159	510	2,511	23,809				
2,305	—	2,305	0	2,963	2,963	51	494	545	15	5,828	15,441	17,022	42,307				
134	—	134	0	716	716	0	45	45	1	896	6,084	5,067	13,001				
235	—	235	—	2,058	2,058	54	130	184	11	2,488	2,846	3,731	9,862				
73	—	73	—	337	337	5	54	59	—	469	1,680	2,416	6,785				
402	—	402	—	569	569	27	75	102	0	1,073	1,404	1,332	3,953				
451	—	451	—	187	187	—	67	67	0	705	2,015	2,711	6,963				
2,792	43	2,835	4	781	785	15	165	180	111	3,911	1,415	3,128	11,424				
152	—	152	—	68	68	—	12	12	—	232	1,012	1,537	3,576				
266	—	266	—	349	349	8	37	45	1	661	375	735	1,786				
122	—	122	—	160	160	—	38	38	0	320	2,502	4,586	9,077				
143	—	143	—	516	516	2	39	41	17	717	349	915	3,115				
2,288	49	2,337	6	2,570	2,576	29	315	344	99	5,356	1,180	1,899	10,416				
844	—	844	0	1,770	1,770	6	115	121	10	2,745	1,087	3,439	9,286				
191	—	191	—	121	121	—	21	21	1	334	1,061	1,241	2,858				
991	—	991	11	962	973	4	86	90	3	2,057	574	1,149	5,572				
54	—	54	—	69	69	—	8	8	—	131	622	967	2,520				

区 分 市 町 村	農 地									草 地			草 地 計	
	普 通 田	特 殊 田	計	普 通 草 畑	牧 草 畑	樹 園 地			農 地 計	利 用 草 地				
						果 樹 園	桑 そ 園 ・ の 茶 園 他	計		永 年 牧 草 地	自 然 草 地	計		
座間市	126		126	138	5	13	17	30	299					
南足柄市	396		396	46	1	573	37	610	1,053					
郡部														
三浦郡														
葉山町	42		42	39	—	4	1	5	86					
高座郡														
寒川町	48		248	261	8	11	1	12	529					
綾瀬町	90		90	292	14	14	2	16	412					
中郡														
大磯町	80		80	169	27	160	8	168	444					
二宮町	34		34	74	17	97	4	101	226					
足柄上郡														
中井町	74		74	382	17	220	20	240	713					
大井町	202		202	98	13	191	14	205	518					
松田町	36		36	62	—	131	52	183	281					
山北町	92		92	31	6	352	110	462	591					
開成町	262		262	5	—	19	1	20	287					
足柄下郡														
箱根町	8		8	0	—	18	3	21	29					
真鶴町	—		—	—	—	105	6	111	111					
湯河原町	0		0	—	—	451	27	478	478					
愛甲郡														
愛川町	101		101	313	7	15	80	95	516					
清川村	31		31	9	0	43	29	72	112					
津久井郡														
城山町	22		22	163	5	26	26	52	242					
津久井町	36		36	483	22	53	99	152	693					
相模湖町	16		16	153	9	25	23	48	226					
藤野町	19		19	249	14	44	142	186	468					

林地												宅	公共用地	合計
人工林			天然林			未立木地			除地	林地	地			
針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	計	採取して放牧に利用する土地	その他	計			地	地	地	
51	—	51	—	82	82	—	3	3	—	136	584	775	1,794	
3,379	336	3,715	1	1,061	1,062	27	180	207	162	5,146	412	1,146	7,757	
274	—	274	—	413	413	24	95	119	0	806	241	567	1,700	
6	6	—	4	4	—	3	3	3	16	395	382	1,322		
110	110	—	103	103	—	10	10	—	223	359	1,230	2,224		
152	152	—	361	361	7	19	26	—	539	243	494	1,720		
40	40	—	117	117	—	13	13	—	170	183	320	896		
134	134	—	527	527	2	81	83	1	745	115	402	1,975		
112	112	—	193	193	0	21	21	3	329	182	442	1,471		
1,167	1,167	—	1,451	1,451	39	95	134	36	2,788	102	562	3,733		
6,896	188	7,084	371	11,914	12,285	174	447	621	556	20,546	160	1,128	22,425	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	112	224	623	
2,375	24	2,399	15	3,870	3,885	84	430	514	161	6,959	453	1,962	9,403	
180	—	180	—	118	118	6	24	30	6	334	81	173	699	
960	56	1,016	6	1,311	1,317	295	115	410	73	2,816	234	539	4,067	
663	—	663	3	801	804	1	58	59	0	1,526	385	984	3,411	
2,572	9	2,581	211	3,539	3,750	3	358	361	72	6,764	30	289	7,195	
437	—	437	2	529	531	1	49	50	18	1,036	129	540	1,947	
4,772	70	4,842	84	5,162	5,246	7	538	545	120	10,753	230	542	12,218	
1,572	—	1,572	—	691	691	0	52	52	9	2,324	71	519	3,140	
2,129	4	2,133	0	2,848	2,848	11	49	60	5	5,046	80	910	6,504	

1 - 1 表 市町村別面積

「全国都道府県市町村面積」建設省国土地理院（昭和47年10月）による。

農地面積

「神奈川県農林水産統計年報」（昭和47年）及び関東農政局神奈川統計事務所資料による。

林地面積

県林務課及び農林省東京営林局資料による。

宅地面積

県地方課「昭和47年度市町村税財政概要」および非課税分については地方課資料による。

1 - 2 表 市街地を D.I.D 地区とし、地区内の農地、林地は市街地外に算入。

1-2 D.I.D. おおむね 10万人以上の都市の土地利用現況の内訳

(単位 km²)

区分 市	市街地の内訳								市街地外の内訳					合 計	
	商 業 区	工業区			住 宅 地	その他の内訳			市 街 地 計	農 地 地	草 地 地	林 地 地	宅 地 地	公 共 地 他	
		重 工 業 地	輕 工 業 地	計		漁 業 区	運 輸 区	公 共 区							
横浜市	8	21	5	26	106				140	40	58		185	283	423
川崎市	5	18	4	22	26				53	10	10		57	77	130
横須賀市	2	3	1	4	16				22	8	25		44	77	99
平塚市	1	1	0	1	7				9	22	5		32	59	68
鎌倉市	1	1	1	2	10				13	1	11		15	27	40
藤沢市	2	0	1	1	13				16	15	7		32	54	70
小田原市	1	0	0	0	9				10	30	39		35	104	114
茅ヶ崎市	1	1	0	1	8				10	8	2		16	26	36
相模原市	1	3	0	3	17				21	17	3		50	70	91
合 計	22	48	12	60	212				294	151	160		466	777	1071

2. 自然的 土地 条件

2-1 傾斜区分別面積市町別内訳

(単位 : km²)

市町 村名	傾斜 区分	0°~3°	3°~8°	8°~15°	15°~20°	20°~30°	30°~40°	40°~	湖	沼	合計	備考
総 計	1027.3	250.2	241.9	232.3	318.0	200.9	103.2	12.5	2387.3			
市 部 計	938.0	218.7	162.9	88.9	68.0	27.5	15.6	0	1520.6			
郡 部 計	89.3	31.5	79.0	142.4	251.0	173.4	87.6	12.5	866.7			
郡 部	89.3	31.5	79.0	142.4	251.0	173.4	87.6	12.5	866.7			
三 浦 郡	3.3	0.1	3.7	5.1	3.9	0.9	—	—	—	17.0		
高 座 郡	32.2	3.2	0	—	—	—	—	—	—	35.4		
中 郡	11.4	6.9	5.6	2.3	0	—	—	—	—	26.2		
足柄上郡	15.1	7.5	19.2	22.0	76.4	117.9	44.2	—	—	302.3		
足柄下郡	3.3	5.9	19.9	34.1	57.9	12.8	1.0	6.8	—	141.7		
愛 甲 郡	12.2	2.3	10.2	13.0	30.6	8.8	28.9	—	—	106.0		
津久井郡	11.8	5.6	20.4	65.9	82.2	33.0	13.5	5.7	—	238.1		
市 部	938.3	218.7	162.9	89.9	68.0	27	15.6	0	1520.6			
横 浜 市	298.9	89.0	29.0	6.2	0	—	—	—	—	423.1		
川 崎 市	114.6	15.4	0	—	—	—	—	—	—	130.0		
横須賀市	39.5	8.1	32.1	10.4	8.5	0	—	0	—	98.6		
平 塚 市	55.1	6.7	5.7	0.4	—	—	—	—	—	67.9		
鎌 倉 市	16.3	6.3	13.9	2.3	0.7	—	—	—	—	39.5		
藤 沢 市	57.9	11.2	0.5	—	—	—	—	—	—	69.6		
小 田 原 市	40.4	15.0	13.9	31.7	12.0	1.2	—	—	—	114.2		
茅 ケ 崎 市	28.8	7.0	—	—	—	—	—	—	—	35.8		
逗 子 市	4.0	1.3	9.3	1.1	1.9	0.3	—	—	—	17.9		
相 模 原 市	88.1	2.7	0	—	—	—	—	—	—	90.8		
三 浦 市	18.3	6.3	6.5	0	—	—	—	0	—	31.1		
秦 野 市	24.0	15.3	10.1	8.0	16.0	20.0	10.8	0	—	104.2		
厚 木 市	48.1	11.6	15.2	6.8	8.2	0.5	2.5	—	—	92.9		
大 和 市	25.1	3.5	0	—	—	—	—	—	—	28.6		
伊 势 原 市	26.1	5.1	6.9	4.3	8.6	2.4	2.3	—	—	55.7		
海 老 名 市	23.2	2.0	0	—	—	—	—	—	—	25.2		
座 間 市	15.7	22	0	—	—	—	—	—	—	17.9		
南 足 柄 市	13.9	10.0	19.8	18.7	12.1	3.1	0	—	—	77.6		
郡 部												
三 浦 郡	3.3	0.1	3.7	5.1	3.9	0.9	—	—	—	17.0		

(単位 : km²)

傾斜 市町区分 村名	0°~3°	3°~8°	8°~15°	15°~20°	20°~30°	30°~40°	40°~	湖沼	合計	備考
葉山町	3.3	0.1	3.7	5.1	3.9	0.9	—	—	17.0	
高座郡	32.2	3.2	—	—	—	—	—	—	35.4	
寒川町	13.2	0	—	—	—	—	—	—	13.2	
綾瀬町	19.0	3.2	—	—	—	—	—	—	22.2	
中郡	11.4	6.9	5.6	2.3	0	—	—	—	26.2	
大磯町	7.9	4.0	3.5	1.8	0	—	—	—	17.2	
二宮町	3.5	2.9	2.1	0.5	0	—	—	—	9.0	
足柄上郡	15.1	7.5	19.2	22.0	76.4	117.9	44.2	—	302.3	
中井町	0.9	6.4	12.2	0.3	0	—	—	—	19.8	
大井町	4.5	0.5	6.7	2.7	0	0.2	0.1	—	14.7	
松田町	1.5	0.6	0.3	2.7	11.4	14.1	6.7	—	37.3	
山北町	2.0	0	0	16.3	65.0	103.6	37.4	—	224.3	
開成町	6.2	0	—	—	—	—	—	—	6.2	
足柄下郡	3.3	5.9	19.9	34.1	57.9	12.8	1.0	6.8	141.7	
箱根町	2.0	2.5	12.7	22.4	35.9	10.7	1.0	6.8	94.0	
真鶴町	0.4	1.1	3.9	0.3	1.3	—	—	—	7.0	
湯河原町	0.9	2.3	3.3	11.4	20.7	2.1	0	—	40.7	
愛甲郡	12.2	2.3	10.2	13.0	30.6	8.8	28.9	—	106.0	
愛川町	12.2	2.3	9.6	3.7	6.3	0	—	—	34.1	
清川村	0	0	0.6	9.3	24.3	8.8	28.9	—	71.9	
津久井郡	11.8	5.6	20.4	65.9	82.2	33.0	13.5	5.7	238.1	
城山町	7.0	0.5	5.6	3.9	2.2	0	—	0.3	19.5	
津久井町	3.5	4.5	9.6	29.2	35.7	24.3	13.5	1.9	122.2	
相模湖町	1.3	0.6	3.9	7.1	15.9	1.6	—	1.0	31.4	
藤野町	0	0	1.3	25.7	28.4	7.1	—	2.5	65.0	

2-2 標高区分別面積市町村別内訳

(単位 : km²)

標高区分 市町区分 村名	0m ~ 100m	100m ~ 200m	200m ~ 400m	400m ~ 600m	600m ~ 800m	800m ~ 1,000m	1,000m ~ 1,500m	1,500m ~	湖沼	合計	備考
総 計	1305.6	252.1	246.2	205.0	155.7	118.4	89.5	2.3	12.5	2387.3	
市 部 計	1189.0	153.0	71.2	48.2	36.1	17.0	6.1	0	0	1520.6	
郡 部 計	116.6	99.1	175.0	156.8	119.6	101.4	83.4	2.3	12.5	866.7	
郡 部	116.6	99.1	175.0	156.8	119.6	101.4	83.4	2.3	12.5	866.7	
三 浦 郡	10.5	4.9	1.6	—	—	—	—	—	—	17.0	
高 座 郡	35.4	—	—	—	—	—	—	—	—	35.4	
中 郡	21.7	4.5	0	—	—	—	—	—	—	26.2	
足 柄 上 郡	26.3	31.7	31.9	61.4	53.2	53.6	43.5	0.7	—	302	
足 柄 下 郡	8.9	8.8	17.6	24.7	38.4	27.9	8.6	—	6.8	141.7	
愛 甲 郡	9.0	19.3	29.0	23.4	10.3	6.3	7.8	0.9	—	106.0	
津 久 井 郡	4.8	29.9	94.9	47.3	17.7	13.6	23.5	0.7	5.7	238.1	
市 部	1189.0	153.0	71.2	48.2	36.1	17.0	6.1	0	0	1520.6	
横 浜 市	420	2.6	—	—	—	—	—	—	—	423.1	
川 崎 市	125.6	4.4	—	—	—	—	—	—	—	130.0	
横 須 賀 市	91.6	6.8	0.2	—	—	—	—	—	0	99.6	
平 塚 市	63.1	4.8	—	—	—	—	—	—	—	67.9	
鎌 倉 市	37.7	1.8	—	—	—	—	—	—	—	39.5	
藤 沢 市	69.6	—	—	—	—	—	—	—	—	69.6	
小 田 原 市	61.3	15.2	16.8	11.9	7.1	1.9	—	—	—	114.2	
茅 ケ 崎 市	35.8	—	—	—	—	—	—	—	—	35.8	
逗 子 市	15.1	2.7	0.1	—	—	—	—	—	—	17.9	
相 模 原 市	43.3	47.5	—	—	—	—	—	—	—	90.8	
三 浦 市	31.1	—	—	—	—	—	—	—	0	31.1	
秦 野 市	12.5	30	26.9	12.2	10.3	7.8	4.1	—	0	104.2	
厚 木 市	63.1	17.3	5.8	3.3	2.0	0.7	0.7	—	—	92.9	
大 和 市	28.6	—	—	—	—	—	—	—	—	28.6	
伊 勢 原 市	31.8	7.5	7.7	5.3	2.2	0.9	0.3	—	—	55.7	
海 老 名 市	25.2	—	—	—	—	—	—	—	—	25.2	
座 間 市	17.9	—	—	—	—	—	—	—	—	17.9	
南 足 柄 市	15.2	12.0	13.7	15.5	14.5	5.7	1.0	—	—	77.6	
郡 部											
三 浦 郡	10.5	4.9	1.6	—	—	—	—	—	—	—	
葉 山 町	10.5	4.9	1.6	—	—	—	—	—	—	17.0	

(単位 : km²)

市町 村名	標高 区分	0m ~ 100m	100m ~ 200m	200m ~ 400m	400m ~ 600m	600m ~ 800m	800m ~ 1,000m	1,000m ~ 1,500m	1,500m ~	湖沼	合計	備考
高座郡	35.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35.4	
寒川町	13.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13.2	
綾瀬町	22.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22.2	
中郡	21.7	4.5	0	—	—	—	—	—	—	—	26.2	
大磯町	13.9	3.3	0	—	—	—	—	—	—	—	17.2	
二宮町	7.8	1.2	—	—	—	—	—	—	—	—	9.0	
足柄上郡	26.3	31.7	31.9	61.4	53.2	53.6	43.5	0.7	—	—	302.3	
中井町	6.9	11.2	1.7	—	—	—	—	—	—	—	19.8	
大井町	6.5	5.7	2.5	—	—	—	—	—	—	—	14.7	
松田町	4.1	3.6	11.3	9.0	4.8	2.9	1.6	—	—	—	37.3	
山北町	2.6	11.2	16.4	52.4	48.4	50.7	41.9	0.7	—	—	224.3	
開成町	6.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.2	
足柄下郡	8.9	8.8	17.6	24.7	38.4	27.9	8.6	—	—	6.8	141.7	
箱根町	0.5	2.2	6.0	11.9	30.1	27.9	8.6	—	—	6.8	94.0	
真鶴町	3.2	1.5	1.4	0.8	0.1	—	—	—	—	—	7.0	
湯河原町	5.5	5.1	10.2	12.0	8.2	0	—	—	—	—	40.7	
愛甲郡	9.0	19.3	29.0	23.4	10.3	6.3	7.8	0.9	—	—	106.0	
愛川町	9.0	13.5	8.9	2.3	0.4	—	—	—	—	—	34.1	
清川村	0	5.8	20.1	21.1	9.9	6.3	7.8	0.9	—	—	71.9	
津久井郡	4.8	29	94.9	47.3	17.7	13.6	23.5	0.7	5.7	—	238.1	
城山町	4.8	10.0	4.1	0.3	—	—	—	—	—	0.3	19.5	
津久井町	0	10.7	37.7	22.7	12.3	12.5	23.5	0.7	1.9	—	122.2	
相模湖町	—	5.4	18.3	5.2	1.5	—	—	—	—	1.0	31.4	
藤野町	—	3.6	34.8	19.1	3.9	1.1	—	—	—	2.5	65.0	

2-3 地形区分別面積市町村別内訳 (1)

地形区分 市町村名	山地・火山地					丘陵地			砂礫
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	計	大起伏	小起伏	計	
総 計	219.0	412.0	185.2	32.2	848.4	86.9	247.7	334.6	289.1
市 部 計	25.0	124.1	45.6	16.8	211.5	71.1	222.8	284.0	231.1
郡 部 計	194.0	287.9	139.6	15.4	636.9	15.8	24.8	40.6	58.0
郡 部									
三 郡	—	—	5.8	—	5.8	—	4.0	4.0	—
高 座 郡	—	—	—	—	—	—	1.4	1.4	16.7
中 郡	—	—	—	—	—	3.0	8.7	11.7	0.3
足柄上郡	89.8	118.7	31.9	—	240.4	12.8	7.2	20.0	5.1
足柄下郡	31.7	51.3	20.8	15.4	119.2	—	—	—	—
愛 甲 郡	15.2	54.1	12.5	—	81.8	—	—	—	15.1
津 久 井 郡	57.3	63.8	68.6	—	189.7	—	3.5	3.5	20.8
市 部									
横 浜 市	—	—	—	—	—	9.5	131.7	141.2	—
川 崎 市	—	—	—	—	—	—	29.9	29.9	—
横須賀 市	—	—	11.0	—	11.0	16.1	17.3	33.4	—
平 塚 市	—	—	—	—	—	5.7	0.7	6.4	5.9
鎌 倉 市	—	—	—	—	—	10.6	11.2	21.8	—
藤 沢 市	—	—	—	—	—	—	5.0	5.0	30.6
小 田 原 市	2.5	27.4	11.3	14.5	55.7	10.4	0.5	10.9	1.5
茅 ケ 崎 市	—	—	—	—	—	—	6.7	6.7	0
逗 子 市	—	—	2.5	—	2.5	4.6	4.0	8.6	—
相 模 原 市	—	—	—	—	—	—	0.3	0.3	83.9
三 浦 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—
秦 野 市	16.9	29.6	2.3	—	48.8	9.4	—	9.4	30.4
厚 木 市	5.1	14.1	4.2	—	23.4	4.8	5.8	10.6	21.2
大 和 市	—	—	—	—	—	—	—	—	24.2
伊 勢 原 市	0.5	19.5	—	—	20.0	—	2.7	2.7	10.0
海 老 名 市	—	—	—	—	—	—	2.9	2.9	4.3
座 間 市	—	—	—	—	—	—	1.4	1.4	10.4
南 足 柄 市	—	33.5	14.3	2.3	50.1	—	2.8	2.8	8.7
郡 部									
三 浦 郡	—	—	5.8	—	5.8	—	4.0	4.0	—
葉 山 町	—	—	5.8	—	5.8	—	4.0	4.0	—

(単位: km²)

台地段丘			低地					沼澤等	合計	備考
ローム	岩石	計	扇状地性	三角州性	自然堤防砂州	埋立地	計			
109.6	1.7	400.4	341.4	209.3	183.7	57.0	791.4	12.5	2387.3	
109.6	1.7	342.4	272.7	190.3	152.7	57.0	672.7	0	1520.6	
—	—	58.0	68.7	18.0	31.0	—	118.7	12.5	866.7	
—	—	—	6.0	0.3	0.9	—	7.2	—	17.0	
—	—	16.7	4.8	8.2	4.3	—	17.3	—	35.4	
—	—	0.3	5.9	2.0	6.3	—	14.2	—	26.2	
—	—	5.1	17.5	5.1	14.2	—	36.8	—	302.3	
—	—	—	13.9	1.1	0.7	—	15.7	6.8	141.7	
—	—	15.1	4.2	1.9	3.0	—	9.1	—	106.0	
—	—	20.8	16.4	0.4	1.6	—	18.4	5.7	238.1	
72.7	—	72.7	122.7	43.2	9.3	34.0	209.2	—	423.1	
12.3	—	12.3	19.6	33.0	18.7	16.5	87.8	—	130.0	
4.2	0.4	4.6	31.7	4.9	6.5	6.5	49.6	0	98.6	
—	—	5.9	6.0	24.4	25.2	—	55.6	—	67.9	
—	—	—	10.7	0.9	6.1	—	17.7	—	39.5	
—	0.1	30.7	8.2	9.5	16.2	—	33.9	—	69.6	
—	—	1.5	8.1	17.2	20.8	—	46.1	—	114.2	
—	—	0	1.5	8.9	18.7	—	29.1	—	35.8	
—	—	—	3.1	2.5	1.2	—	6.8	—	17.9	
—	—	83.9	0.4	2.3	3.9	—	6.6	—	90.8	
20.4	1.2	21.6	5.4	2.5	1.6	—	9.5	0	31.1	
—	—	30.4	11.7	3.5	0.4	—	15.6	0	104.2	
—	—	21.2	12.7	15.6	9.4	—	37.7	—	92.9	
—	—	24.2	3.1	—	1.3	—	4.4	—	28.6	
—	—	10.0	14.5	6.6	1.9	—	23.0	—	55.7	
—	—	4.3	2.6	8.3	7.1	—	18.0	—	25.2	
—	—	10.4	2.3	2.2	1.6	—	6.1	—	17.9	
—	—	8.7	8.4	4.8	2.8	—	16.0	—	77.6	
—	—	—	6.0	0.3	0.9	—	7.2	—	17.0	
—	—	—	6.0	0.3	0.9	—	7.2	—	17.0	

地形区分 市町村名	山 地 · 火 山 地					丘 陵 地			砂 磨
	大 起 伏	中 起 伏	小 起 伏	山 麗 地	計	大 起 伏	小 起 伏	計	
高 座 郡	-	-	-	-	-	-	1.4	1.4	16.7
寒 川 町	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9
綾 濑 町	-	-	-	-	-	-	1.4	1.4	14.8
中 郡	-	-	-	-	-	3.0	8.7	11.7	0.3
大 磯 町	-	-	-	-	-	3.0	5.1	8.1	-
二 宮 町	-	-	-	-	-	-	3.6	3.6	0.3
足 柄 上 郡	89.8	118.7	31.9	-	240.4	12.8	7.2	20.0	5.1
中 井 町	-	-	-	-	-	5.6	5.9	11.5	3.1
大 井 町	-	-	0.7	-	0.7	6.5	-	6.5	0.5
松 田 町	13.3	8.8	8.1	-	30.2	-	-	-	-
山 北 町	76.5	109.9	23.1	-	209.5	0.7	1.3	2.0	1.5
開 成 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
足 柄 下 郡	31.7	51.3	20.8	-	119.2	-	-	-	-
箱 根 町	25.4	28.5	9.7	-	79.0	-	-	-	-
真 鶴 町	-	1.5	4.8	-	6.3	-	-	-	-
湯 河 原 町	6.3	21.3	6.3	-	33.9	-	-	-	-
愛 甲 郡	15.2	54.1	12.5	-	81.8	-	-	-	15.1
愛 川 町	-	7.2	5.9	-	13.1	-	-	-	14.0
清 川 村	15.2	46.9	6.6	-	68.7	-	-	-	1.1
津 久 井 郡	57.3	63.8	68.6	-	189.7	-	3.5	3.5	20.8
城 山 町	-	-	7.9	-	7.9	-	3.5	3.5	4.7
津 久 井 町	53.1	25.0	23.7	-	101.8	-	-	-	10.3
相 模 湖 町	-	18.3	5.8	-	24.1	-	-	-	4.1
藤 野 町	4.2	20.5	31.2	-	55.9	-	-	-	1.7

(単位 : km²)

台地段丘			低 地					湖沼等	合 計	備 考
口一ム	岩 石	計	扇状地性	三角州性	自然堤防砂	埋立地	計			
—	—	16.7	4.8	8.2	4.3	—	17.3	—	35.4	
—	—	1.9	—	7.0	4.3	—	11.3	—	13.2	
—	—	14.8	4.8	1.2	—	—	6.0	—	22.2	
—	—	0.3	5.9	2.0	6.3	—	14.2	—	26.2	
—	—	—	3.6	1.5	4.0	—	9.1	—	17.2	
—	—	0.3	2.3	0.5	2.3	—	5.1	—	9.0	
—	—	5.1	17.5	5.1	14.2	—	36.8	—	302.3	
—	—	3.1	4.2	1.0	—	—	5.2	—	19.8	
—	—	0.5	3.8	1.6	1.6	—	7.0	—	14.7	
—	—	—	5.6	0.4	1.1	—	7.1	—	37.3	
—	—	1.5	3.9	—	7.4	—	11.3	—	224.3	
—	—	—	—	2.1	4.1	—	6.2	—	6.2	
—	—	—	13.9	1.1	0.7	—	15.7	6.8	141.7	
—	—	—	7.7	—	0.5	—	8.2	6.8	94.0	
—	—	—	0.7	—	—	—	0.7	—	7.0	
—	—	—	5.5	1.1	0.2	—	6.8	—	40.7	
—	—	15.1	4.2	1.9	3.0	—	9.1	—	106.0	
—	—	14.0	2.1	1.9	3.0	—	7.0	—	34.1	
—	—	1.1	2.1	—	—	—	2.1	—	71.9	
—	—	20.8	16.4	0.4	1.6	—	18.4	5.7	238.1	
—	—	4.7	1.1	0.4	1.6	—	3.1	0.3	19.5	
—	—	10.3	8.2	—	—	—	8.2	1.9	122.2	
—	—	4.1	2.2	—	—	—	2.2	1.0	31.4	
—	—	1.7	4.9	—	—	—	4.9	2.5	65.0	

2-4-1 表層地質分布面積市町村別内訳

区 市 町 村 分 名	未 固 結 堆 積 物					半 固 結 堆 積 物				固 結 堆 積 物								火か 山性 崩物	
	礫	砂	泥	崖 錐 堆 積 物	計	礫	砂	泥	計	礫	砂	泥	砂 岩 泥 岩 互 層	砂 凝 岩 ・ 岩 互 層	砂 岩 ・ 黑色 頁 層	綠 色 凝 灰 岩	計		
総 計	131.6	90.1	361.5	7.7	590.9	8.0	6.9	42.5	57.4	46.3	13.0	28.2	195.4	26.6	38.2	311.5	659.2	6.3	
市 部 計	89.4	85.1	342.3	0.3	517.1	4.8	6.9	26.4	38.2	8.2	—	3.7	173.9	17.2	3.5	96.5	303.0	—	
郡 部 計	42.2	5.0	18.2	7.4	73.8	3.1	—	16.1	19.2	38.1	13.0	24.5	21.5	8.4	34.7	215.0	356.2	6.3	
郡 部																			
三浦 郡	—	0.3	3.0	—	3.3	—	—	—	—	1.2	—	—	3.1	9.4	—	—	13.7	—	
高 座 郡	6.6	0.5	6.8	—	13.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
中 郡	0.1	4.0	5.6	—	9.7	0.4	—	9.3	9.7	1.7	—	—	1.3	—	—	1.3	4.3	—	
足柄上郡	20.6	—	0.3	—	20.9	2.7	—	6.8	9.5	20.1	1.9	8.8	0.9	—	—	67.3	99.0	—	
足柄下郡	5.9	0.2	3.2	7.4	16.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0	2.0	6.3	
愛 甲 郡	5.6	—	—	—	5.6	—	—	—	—	0.8	—	—	7.2	—	5.8	61.1	74.9	—	
津久井郡	3.4	—	0.3	—	3.7	—	—	—	—	14.3	11.1	15.7	9.0	—	28.9	83.3	162.3	—	
市 部																			
横 浜 市	—	—	147.6	—	147.6	—	—	18.1	18.1	—	—	—	55.1	—	—	—	55.1	—	
川 崎 市	—	18.9	49.5	—	68.4	—	—	—	—	—	—	—	6.9	—	—	—	6.9	—	
横須賀市	—	3.1	18.4	—	21.5	—	1.7	—	1.7	2.7	—	—	50.0	15.6	—	—	68.3	—	
平 塚 市	9.7	19.0	21.3	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	0.2	—	—	0.4	0.6	—	
鎌倉 市	—	2.5	10.8	—	13.3	—	—	1.3	1.3	—	—	—	24.5	—	—	—	24.5	—	
藤 沢 市	—	13.0	18.9	—	31.9	—	—	2.0	2.0	—	—	—	2.9	—	—	—	2.9	—	
小田原 市	28.2	4.1	8.3	—	40.6	4.9	—	5.0	9.9	0.4	—	—	1.3	—	—	0.1	1.8	—	
茅ヶ崎 市	0.4	21.5	5.1	—	27.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
逗 子 市	—	0.6	3.8	—	4.4	—	—	—	—	0.2	—	—	11.7	1.6	—	—	13.5	—	
相模原 市	4.0	—	2.2	—	6.2	—	—	—	—	—	—	—	0.4	—	—	—	0.4	—	
三 浦 市	—	1.0	4.2	—	5.2	—	5.2	—	5.2	—	—	—	20.7	—	—	—	20.7	—	
秦 野 市	8.5	—	1.7	—	10.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47.2	47.2	—	
厚 木 市	15.2	0.7	16.5	—	32.4	—	—	—	—	—	—	—	0.6	0.2	—	3.5	24.8	29.1	—
大 和 市	—	—	4.9	—	4.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
伊 势 原 市	6.9	0.7	15.6	—	23.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24.0	24.0	—	
海 老 名 市	5.7	—	9.3	—	15.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
座 間 市	1.1	—	4.2	—	5.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
南足柄 市	9.7	—	—	0.3	10.0	—	—	—	—	4.9	—	3.1	—	—	—	—	8.0	—	

(単位 : km²)

軽 石	火 山 性 岩 石								深 成 岩			変 成 岩					合 計			
	立 川 口 一 ム	武 藏 野 口 一 ム	下 末 吉 口 一 ム	多 摩 口 一 ム	凝 灰 角 礫 岩	火 山 角 礫 岩	安 山 岩 質 岩 石	玄 武 岩 質 岩 石	計	石 英 閃 綠 岩	蛇 紋 岩 質 岩 石	計	ホ ル ン フ ュ ル ス	結 晶 片 岩	計	湖 計	埋 立 地	計		
14.4	68.4	265.2	107.8	157.4	16.5	50.4	173.4	14.3	874.1	87.6	0.2	87.8	17.6	30.8	48.4	12.5	12.5	57.0	57.0	2387.3
10.7	34.0	221.7	102.2	148.8	1.1	7.1	78.7	0.2	604.5	0.6	0.2	0.8	—	—	—	—	—	57.0	57.0	1520.5
3.7	34.4	43.5	5.6	8.6	15.4	43.3	94.2	14.1	269.6	87.0	—	87.0	17.6	30.8	48.4	12.5	12.5	—	—	866.7
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17.0
—	—	19.9	0.3	1.3	—	—	—	—	21.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35.4
—	—	0.2	0.1	2.2	—	—	—	—	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	26.2
0.2	6.9	3.1	1.6	5.1	10.2	9.5	2.5	3.4	42.5	86.6	—	86.6	13.0	30.8	43.8	—	—	—	—	302.3
3.5	—	0.3	—	—	5.2	—	91.3	9.6	116.2	—	—	—	—	—	—	—	6.8	6.8	—	141.7
—	13.8	—	—	—	—	11.7	—	—	25.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	106.0
—	13.7	20.0	3.6	—	—	22.1	0.9	1.1	61.4	0.4	—	0.4	4.6	—	4.6	5.7	5.7	—	—	238.1
—	—	28.4	43.3	96.6	—	—	—	—	168.3	—	—	—	—	—	—	—	—	34.0	34.0	423.1
—	—	—	8.3	29.9	—	—	—	—	38.2	—	—	—	—	—	—	—	—	16.5	16.5	130.0
—	—	—	0.4	—	—	—	—	—	0.4	—	0.2	0.2	—	—	—	—	—	6.5	6.5	98.6
—	1.5	—	10.6	5.2	—	—	—	—	17.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	67.9
—	—	0.4	—	—	—	—	—	—	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	39.5
—	—	20.2	12.6	—	—	—	—	—	32.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	69.6
8.5	—	8.1	—	3.0	0.8	—	41.5	—	61.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	114.2
—	—	0.8	8.0	—	—	—	—	—	8.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35.8
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17.9
—	22.2	61.1	—	0.9	—	—	—	—	84.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90.8
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.1
—	3.0	28.7	7.1	0.7	—	7.1	—	0.2	46.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	104.2
—	7.3	13.5	6.2	4.4	—	—	—	—	31.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	92.9
—	—	23.7	—	—	—	—	—	—	23.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28.6
—	—	—	5.7	2.8	—	—	—	—	8.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55.7
—	—	6.6	—	3.6	—	—	—	—	10.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25.2
—	—	10.9	—	1.7	—	—	—	—	12.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17.9
2.2	—	19.3	—	—	0.3	—	37.2	—	59.0	0.6	—	0.6	—	—	—	—	—	—	—	77.6

区 分 市 町 村 名	未 固 結 堆 積 物				半 固 結 堆 積 物				固 結 堆 積 物								火か 山性 崩物
	礫	砂	泥	崖 錐 堆 積 物	計	礫	砂	泥	計	礫	砂	泥	砂互 岩 ・ 泥 岩層	砂凝 岩灰 ・ 泥互 岩層	砂岩 ・ 互 色 頁層	綠 色 凝 灰 岩	計
郡 部																	
三浦 郡																	
葉山 町	—	0.3	3.0	—	3.3	—	—	—	—	1.2	—	—	3.1	9.4	—	—	13.7
高 座 郡																	
寒川 町	6.6	0.5	2.8	—	9.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
綾瀬 町	—	—	4.0	—	4.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中 郡																	
大磯 町	—	2.3	3.1	—	5.4	0.4	—	8.6	9.0	0.7	—	—	0.2	—	—	0.6	1.5
二宮 町	0.1	1.7	2.5	—	4.3	—	—	0.7	0.7	1.0	—	—	1.1	—	—	0.7	2.8
足柄上郡																	
中井 町	0.7	—	0.3	—	1.0	2.6	—	6.8	9.4	—	—	—	—	—	—	0.7	0.7
大井 町	5.1	—	—	—	5.1	0.1	—	—	0.1	2.6	—	—	—	—	—	1.3	3.9
松田 町	2.9	—	—	—	2.9	—	—	—	—	1.4	1.9	—	—	—	—	20.7	24.0
山北 町	5.7	—	—	—	5.7	—	—	—	—	16.1	—	8.8	0.9	—	—	44.6	70.4
開成 町	6.2	—	—	—	6.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
足柄下郡																	
箱根 町	0.2	—	3.2	7.4	10.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3	0.3
真鶴 町	—	0.2	—	—	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
湯河原 町	5.7	—	—	—	5.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7	1.7
愛甲 郡																	
愛川 町	5.6	—	—	—	5.6	—	—	—	—	—	—	—	2.2	—	5.8	6.7	14.7
清川 村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	—	—	5.0	—	—	54.4	60.2
津久井 郡																	
城山 町	2.8	—	—	—	2.8	—	—	—	—	1.8	1.0	7.2	—	—	2.7	—	12.7
津久井 町	0.6	—	—	—	0.6	—	—	—	—	2.3	1.2	3.4	0.9	—	6.6	53.5	67.9
相模湖 町	—	—	0.3	—	0.3	—	—	—	—	5.6	3.0	5.1	—	—	9.3	1.9	24.9
藤野 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6	5.9	—	8.1	—	10.3	27.9	56.8

軽 石	火 山 性 岩 石								深 成 岩			変 成 岩							合 計	
	立 川 口 一 ム	武 蔵 野 口 一 ム	下 末 吉 口 一 ム	多 �摩 口 一 ム	凝 灰 角 碳 石	火 山 角 碳 石	安 山 岩 质 岩 石	玄 武 岩 质 岩 石	計	石 英 閃 緑 岩	蛇 紋 岩 质 岩 石	計	ホ ル ン フ ェ ル ス	結 晶 片 岩	計	湖	計	埋 立 地	計	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.0
-	-	3.3	-	-	-	-	-	-	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13.2
-	-	16.6	0.3	1.3	-	-	-	-	18.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2
-	-	0.2	-	1.1	-	-	-	-	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.2
-	-	-	0.1	1.1	-	-	-	-	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.0
-	6.5	0.6	1.6	-	-	-	-	-	8.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19.8
-	-	0.5	-	5.1	-	-	-	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.7
-	0.4	1.7	-	-	4.0	4.3	-	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37.3
0.2	-	0.3	-	-	6.2	5.2	2.5	3.4	17.8	86.6	-	86.6	13.0	30.8	43.8	-	-	-	-	224.3
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.2
3.5	-	-	-	-	5.2	-	60.7	0.4	76.1	-	-	-	-	-	-	-	6.8	-	-	94.0
-	-	-	-	-	-	-	6.8	-	6.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.0
-	-	0.3	-	-	-	-	23.8	9.2	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.7
-	13.8	-	-	-	-	-	-	-	13.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34.1
-	-	-	-	-	-	11.7	-	-	11.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71.9
-	1.9	1.8	-	-	-	-	-	-	3.7	-	-	-	-	-	-	0.3	0.3	-	-	19.5
-	7.4	13.0	2.3	-	-	22.1	0.9	1.1	46.8	0.4	-	0.4	4.6	-	4.6	1.9	1.9	-	-	122.2
-	3.6	0.6	1.0	-	-	-	-	-	5.2	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	31.4
-	0.8	4.6	0.3	-	-	-	-	-	5.7	-	-	-	-	-	-	2.5	2.5	-	-	65.0

2-4-2 表層地質の性状別分布面積市町村別内訳

市 区 分 市 町 村 別	固結～半固結堆積物分布地			火 山 箍 台			
	風化般の深度			ローム ～砂礫	ローム ～砂泥	ローム ～碎屑物	ローム～未 固結火碎 岩類～礫層
	浅い (3m以浅)	中程度 (3~10m)	深い (10m以深)				
総計	301.3	490.9	116.2	348.2	266.6	37.5	9.4
市部計	22.7	310.4	5.9	235.2	264.7	30.1	8.2
郡部計	278.6	180.5	110.3	113.0	1.9	7.4	1.2
郡 部							
三浦郡	—	13.7	—	—	—	—	—
高座郡	—	—	—	21.0	0.5	—	—
中 郡	—	3.9	1.0	9.6	—	—	—
足柄上郡	124.5	44.0	86.5	24.7	0.9	0.3	2.0
足柄下郡	2.0	5.5	9.7	6.0	0.5	7.1	1.0
愛甲郡	28.7	57.1	0.8	14.9	—	—	—
津久井郡	123.4	56.3	12.3	36.8	—	—	—
市 部							
横浜市	—	73.2	—	—	168.3	—	—
川崎市	—	6.9	—	—	38.2	—	—
横須賀市	—	70.0	0.2	—	0.4	—	—
平塚市	—	0.2	0.4	17.3	—	—	—
鎌倉市	—	25.8	—	—	0.4	—	—
藤沢市	—	4.9	—	5.1	27.7	—	—
小田原市	—	1.3	0.5	14.8	—	10.4	6.0
茅ヶ崎市	—	—	—	—	8.8	—	—
逗子市	—	13.4	—	—	—	—	—
相模原市	—	0.4	—	84.2	—	—	—
三浦市	—	26.0	—	—	—	—	—
秦野市	18.2	36.3	—	34.9	4.2	0.4	—
厚木市	4.5	21.4	3.1	23.3	8.2	—	—
大和市	—	—	—	23.7	—	—	—
伊勢原市	—	22.3	1.1	9.1	8.5	—	—
海老名市	—	—	—	10.2	—	—	—
座間市	—	—	—	12.6	—	—	—
南足柄市	—	8.3	0.6	—	—	19.3	2.2
郡 部							
三浦郡							

(単位: km²)

地 域 (溶岩 (火碎岩を) はさむ)	沖 積 地			其 他		合 計
	泥層を主とす る地域	砂層を主とす る地域	礫層を主とす る地域	湖	埋立地	
1 7 1.2	3 6 5.2	8 7.9	1 2 3.4	1 2.5	5 7.0	2 3 8 7.3
7 8.7	3 4 2.1	8 5.6	8 0.0	0	5 7.0	1 5 2 0.6
9 2.5	2 3 1	2.3	4 3.4	1 2.5	—	8 6 6.7
—	3.0	0.3	—	—	—	1 7.0
—	6.8	0.5	6.6	—	—	3 5.4
—	9.6	1.5	0.6	—	—	2 6.2
—	0.8	—	2 0.4	—	—	3 0 2.3
9 2.5	2.6	—	8.0	6.8	—	1 4 1.7
—	—	—	4.5	—	—	1 0 6.0
—	0.3	—	3.3	5.7	—	2 3 8.1
—	1 4 7.6	—	—	—	3 4.0	4 2 3.1
—	4 9.5	1 8.9	—	—	1 6.5	1 3 0.0
—	1 8.4	3.1	—	—	6.5	9 8.6
—	2 1.3	1 9.0	9.7	—	—	6 7.9
—	1 0.8	2.5	—	—	—	3 9.5
—	1 8.9	1 3.0	—	—	—	6 9.5
4 1.5	1 0.0	3.9	2 5.8	—	—	1 1 4.2
—	5.1	2 1.9	—	—	—	3 5.8
—	3.9	0.6	—	—	—	1 7.9
—	2.2	—	4.0	—	—	9 0.8
—	4.1	1.0	—	—	0	3 1.1
—	1.7	—	8.5	0	—	1 0 4.2
—	1 6.5	0.7	1 5.2	—	—	9 2.9
—	4.9	—	—	—	—	2 8.6
—	1 3.7	1.0	—	—	—	5 5.7
—	9.3	—	5.7	—	—	2 5.2
—	4.2	—	1.1	—	—	1 7.9
3 7.2	—	—	1 0.0	—	—	7 7.6

市 町 村 分 別	固結～半固結堆積物分布地			火 山 麓				台
	風化般の深度			ローム ～砂礫	ローム ～砂泥	ローム ～碎屑物		
	浅い (3m以浅)	中程度 (3~10m)	深い (10m以深)					
葉山町	—	1 3.7	—	—	—	—	—	—
高座郡								
寒川町	—	—	—	3.3	—	—	—	—
綾瀬町	—	—	—	1 7.7	0.5	—	—	—
中郡								
大磯町	—	3.2	1.0	4.3	—	—	—	—
二宮町	—	0.7	—	5.3	—	—	—	—
足柄上郡								
中井町	—	0.7	—	1 8.1	—	—	—	—
大井町	—	3.9	—	4.9	0.5	—	—	—
松田町	2 5.0	7.3	—	1.7	0.4	—	—	—
山北町	9 9.5	3 2.1	8 6.5	—	—	0.3	0.2	
開成町	—	—	—	—	—	—	—	—
足柄下郡								
箱根町	0.3	5.5	0.4	4.4	0.2	7.1	1.0	
真鶴町	—	—	—	—	—	—	—	—
湯河原町	1.7	—	9.3	1.6	0.3	—	—	—
愛甲郡								
愛川町	5.8	8.9	—	1 4.9	—	—	—	—
清川村	2 2.9	4 8.2	0.8	—	—	—	—	—
津久井郡								
城山町	1 2.7	—	—	3.7	—	—	—	—
津久井町	6 9.0	2 6.8	2.1	2 2.2	—	—	—	—
相模湖町	1 7.4	1.9	5.6	5.2	—	—	—	—
藤野町	2 4.3	2 7.9	4.6	5.7	—	—	—	—

(単位: km²)

地 溶 岩 (火碎岩を はさむ)	沖 積 地			其 他		合 計
	泥層を主とす る地域	砂層を主とす る地域	礫層を主とす る地域	湖	埋立地	
—	3.0	0.3	—	—	—	17.0
—	2.8	0.5	6.6	—	—	13.2
—	4.0	—	—	—	—	22.2
—	8.3	—	0.4	—	—	17.2
—	1.3	1.5	0.2	—	—	9.0
—	0.3	—	0.7	—	—	19.8
—	0.5	—	4.9	—	—	14.7
—	—	—	2.9	—	—	37.3
—	—	—	5.7	—	—	224.3
—	—	—	6.2	—	—	6.2
62.0	2.6	—	3.7	6.8	—	94.0
6.8	—	—	0.2	—	—	7.0
23.7	—	—	4.1	—	—	40.7
—	—	—	4.5	—	—	34.1
—	—	—	—	—	—	71.9
—	—	—	2.8	0.3	—	19.5
—	—	—	0.5	1.9	—	122.2
—	0.3	—	—	1.0	—	31.4
—	—	—	—	2.5	—	65.0

2-5 土壤統群分布面積市町村別内訳

土壤統計	岩 石 地		未 熟 土		黒 ポ ク 土										褐 色 森 林 土						
	岩 石 地	岩 層 性 土 壠	砂 土 丘 未 熟 壠	計	厚 黒 土 層	黒 ポ ク 土 壠	粗 黒 ポ ク 土 壠	多 黒 ポ ク 土 壠	黒 水 土 壠	黒 グ ラ イ ド 土 壠	淡 黒 ポ ク 土 壠	粗 黒 ポ ク 土 壠	黒 粘 土 壠	計	乾 森 林 土 壠	褐 土 BII (過 渡 色 系)	褐 土 BII (成 熟 色 系)	褐 土 BIII (深 層 砂 質 色 系)	褐 色 森 林 土 壠		
市 町 村																					
総 計	42	263	305	4,428	4,428	53,278	32,787	57	1,348	2,568	13,446	1,180	10,467	3	8,352	42,877	21,886	137	76	734	7,5072
市 部 計	42	45	87	3,768	3,768	45,168	14,786	57	1,297	2,052	9,388	365	7,311	4	1,564	17,670	7,867	137	—	40	2,1278
郊 部 計	—	218	218	660	660	8,110	18,001	—	52	514	4,057	825	31,558	—	7,788	26,207	14,028	—	76	694	47,784
都 部																					
三 浦 都	—	—	—	95	95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	88	750	449	—	—	—	1,287
高 座 都	—	—	—	—	—	1,778	149	—	52	514	—	—	—	2,493	—	—	—	—	—	—	—
中 郡	—	—	—	565	565	—	88	—	—	—	684	—	772	27	705	182	—	—	—	—	914
足 江 上 郡	—	67	67	—	—	652	7,416	—	—	—	2,729	825	11,622	2,751	9,451	3,548	—	45	314	16,109	
足 江 下 郡	—	66	66	—	—	1,237	9,206	—	—	—	120	—	10,563	1,31	16,888	649	—	—	—	—	2,468
愛 甲 郡	—	36	36	—	—	1,476	451	—	—	—	368	—	2,295	1,108	3,571	3,103	—	7	79	7,868	
鎌 久 幸 郡	—	49	49	—	—	2,967	691	—	—	—	156	—	3,814	3,683	9,042	6,098	—	24	301	19,148	
市 部																					
横 浜 市	—	—	—	—	—	16,542	4,569	—	762	550	1,100	—	2,352	3	212	3,511	762	—	—	—	4,685
川 崎 市	—	—	—	—	—	31,20	923	—	—	13	390	—	4,446	—	—	—	—	—	—	—	—
横 梶 市	—	—	—	—	473	473	207	375	—	—	—	—	—	582	266	4,241	1,805	—	—	—	6,312
平 塚 市	—	—	—	—	387	387	407	14	—	—	—	950	—	1,371	—	136	54	—	—	—	1,90
鎌 倉 市	—	—	—	—	269	269	154	—	—	40	—	—	—	194	194	1,945	889	—	—	—	3,028
藤 沢 市	14	—	14	1,295	1,295	33,49	—	—	202	919	125	—	4,595	28	334	63	—	—	—	—	425
小 田 原 市	—	—	—	126	126	1,051	30,38	57	—	—	491	—	4,637	—	1,736	411	137	—	—	—	2,284
茅ヶ崎 市	—	—	—	1,066	1,066	637	79	—	—	64	118	—	888	—	—	—	—	—	—	—	—
逗 子 市	—	—	—	—	68	68	—	—	—	—	—	—	—	—	80	888	516	—	—	—	1,484
相 川 原 市	—	—	—	—	—	8,261	—	—	172	—	—	—	8,433	—	—	—	—	—	—	—	—
三 浦 市	28	—	28	84	84	1,215	997	—	—	—	50	—	2,262	—	—	—	—	—	—	—	—
秦 野 市	—	10	10	—	—	2,246	1,396	—	—	—	2,913	—	6,555	292	1,625	1,261	—	—	21	3,199	
厚 木 市	—	19	19	—	—	2,457	315	—	—	—	1,620	—	4,392	306	753	678	—	—	19	1,756	
大 和 市	—	—	—	—	—	2,361	—	—	111	194	—	—	2,666	—	—	—	—	—	—	—	—
伊 勢 原 市	—	—	—	—	—	1,093	685	—	—	—	763	—	2,541	178	507	574	—	—	—	—	1,259
海 老 名 市	—	—	—	—	—	920	—	—	10	93	—	—	1,023	—	—	—	—	—	—	—	—
座 间 市	—	—	—	—	—	11,48	—	—	—	219	—	—	1,367	—	—	—	—	—	—	—	—
南 足 江 市	—	16	16	—	—	—	2,395	—	—	—	869	365	3,629	8	19,94	854	—	—	—	—	2,856

単位: ha

赤色土		褐色低地土			灰色低地土			グライ土			泥炭土			未 分 地	合 計		
赤 色 土 壤	計	褐 色 低 地 壤	褐 色 低 地 壤	褐 色 低 地 壤	灰 色 低 地 壤	灰 色 低 地 壤	灰 色 低 地 壤	細 粒 土 壤	粗 粒 土 壤	粗 粒 土 壤	細 粒 土 壤	粗 粒 土 壤	粗 粒 土 壤				
23	23	3,572	1,422	4,884	5,131	4,150	4,111	13,392	5,468	2,167	1,016	8,851	785	5,495	8,290	20,000	23,872.8
23	23	2,850	1,073	4,023	4,827	3,503	3,002	11,432	5,111	2,056	822	7,889	885	3,385	8,070	18,271	15,205.5
-	-	622	349	871	204	647	1,108	1,960	357	111	184	682	110	110	220	2,628	8,667.3
-	-	-	-	-	-	291	-	291	27	-	-	27	-	-	-	-	1,700
-	-	404	45	449	-	73	-	73	186	56	-	242	110	110	220	69	3,546
-	-	103	-	103	-	82	-	82	105	55	-	160	-	-	-	20	26.16
-	-	53	174	227	136	201	927	1,264	-	-	194	194	-	-	-	744	30,227
-	-	28	-	28	-	-	19	19	-	-	-	-	-	-	-	1,025	14,169
-	-	34	130	164	-	-	147	147	-	-	-	-	-	-	-	96	10,606
-	-	-	-	-	68	-	16	84	39	-	-	39	-	-	-	675	23,809
-	-	169	-	169	381	42	-	423	1,735	212	-	1,947	338	3215	3,553	8,207	42,307
-	-	130	143	273	1,846	780	182	2,808	546	117	-	663	-	130	130	4,881	13,001
-	-	-	128	128	316	187	69	572	286	39	59	384	-	69	69	1,342	9,862
-	-	1,059	14	1,073	733	760	210	1,703	740	434	14	1,188	41	197	238	638	6,788
-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	-	-	51	-	166	166	245	3,963
-	-	-	-	-	-	-	-	-	84	21	28	133	-	174	174	327	6,963
23	23	297	217	514	274	331	1,200	1,805	206	423	411	1,040	-	-	-	995	11,424
-	-	104	114	218	179	547	50	776	168	75	32	275	36	204	240	103	3,576
-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	18	-	-	-	216	1,786
-	-	54	82	136	109	-	-	109	218	-	-	-	-	-	-	290	9,077
-	-	-	28	28	109	-	-	109	-	22	-	22	97	358	455	127	3,115
-	-	-	-	-	-	270	114	384	125	83	-	208	-	-	-	60	10,416
-	-	111	121	232	585	362	260	1,207	492	353	37	882	28	149	177	621	9,286
-	-	-	-	-	-	-	-	-	129	14	-	143	-	-	-	49	2,858
-	-	212	17	229	234	156	45	435	67	11	156	234	145	691	836	38	5,572
-	-	476	-	476	48	68	-	116	464	252	-	716	-	-	-	189	2,520
-	-	183	-	183	74	-	57	131	-	-	-	-	32	32	81	1,794	
-	-	155	209	364	39	-	706	745	-	-	85	85	-	-	-	62	7,757

土壤統計群 市町村	岩 石 地			未 熟 土		黒 ボ ク 土								褐 色 森 林 土									
	岩 石 地	岩 属性 土 壙	計	砂 土	砂 土 丘 未 熟 地	計	厚 黒 ボ ク 土 壈	黑 ボ ク 土 壈	粗 黑 ボ ク 土 壈	多 黑 ボ ク 土 壈	黑 ダ タイ 土 壈	淡 黑 ボ ク 土 壈	粗 黑 ボ ク 土 壈	淡 黑 ボ ク 土 壈	計	乾 森 土 壙	褐 土 B I (通 暗)	褐 土 B II (乾 暗)	褐 土 C (干 暗 森 土 壙)	褐 土 D (暗 森 土 壙)	褐 土 E (暗 森 土 壙)	計	
都 部																							
三浦 部																							
葉山 町	-	-	-	95	95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88	750	449	-	-	-	1,287	
高 座 郡																							
寒 川 町	-	-	-	-	-	-	217	-	-	52	-	-	-	-	269	-	-	-	-	-	-	-	
鎌 潟 町	-	-	-	-	-	-	1,561	149	-	-	514	-	-	-	2,224	-	-	-	-	-	-	-	
中 郡																							
大 猛 司	-	-	-	385	385	-	57	-	-	-	473	-	-	-	530	21	365	139	-	-	-	525	
二 宮 町	-	-	-	180	180	-	31	-	-	-	211	-	-	-	242	6	340	43	-	-	-	389	
足 桑 上 郡																							
中 井 町	-	-	-	-	-	-	486	97	-	-	-	1,165	-	1,748	-	-	14	-	-	-	-	-	14
大 井 町	-	-	-	-	-	-	166	71	-	-	-	545	-	782	-	-	-	-	-	-	-	-	
松 田 町	-	-	-	-	-	-	-	1,708	-	-	-	638	19	2,365	15	1,003	4	-	-	-	-	1,022	
山 北 町	-	67	67	-	-	-	-	5,540	-	-	-	381	806	6,727	2,736	8,434	3,544	-	45	314	15,073	-	
開 成 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
足 桑 下 郡																							
箱 枝 町	-	66	66	-	-	-	696	6,862	-	-	-	-	-	7,558	9	874	47	-	-	-	-	930	
真 鶴 町	-	-	-	-	-	-	212	439	-	-	-	22	-	673	-	-	-	-	-	-	-	-	
湯 河 原 町	-	-	-	-	-	-	329	1,905	-	-	-	98	-	2,332	122	814	602	-	-	-	-	1,538	
愛 甲 郡																							
愛 川 町	-	-	-	-	-	-	1,476	106	-	-	-	368	-	1,950	65	532	529	-	-	-	-	1,126	
清 川 村	-	36	36	-	-	-	-	-	345	-	-	-	-	-	345	1043	3,039	2,574	-	7	79	6,742	
津 久 井 郡																							
城 山 町	-	-	-	-	-	-	397	66	-	-	-	-	-	463	140	589	421	-	-	-	-	1,150	
津 久 井 町	-	49	49	-	-	-	1,782	501	-	-	-	-	-	2,283	1980	5,035	2,566	-	24	147	9,752	-	
相 模 湖 町	-	-	-	-	-	-	398	65	-	-	-	-	-	-	463	477	945	992	-	-	63	2,477	-
藤 野 町	-	-	-	-	-	-	390	59	-	-	-	156	-	605	1,086	2,473	2,119	-	-	-	91	5,769	-

単位: ha

赤黄色土		褐色低地土			灰色低地土			グライ土			泥炭土			未区分地	合計		
赤色土壤	計	褐土低地土壤	粗粒低地土壤	計	細粒低地土壤	灰土低地土壤	粗粒低地土壤	細土粒グライ土壤	グライ土壤	粗粒グライ土壤	計	低土位泥炭土壤	黑泥土壤	計			
-	-	-	-	-	-	-	291	-	291	27	-	-	-	-	-	1,700	
-	-	404	45	449	-	73	-	73	186	56	-	242	110	110	220	69	1,322
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	224
-	-	103	-	103	-	50	-	50	105	22	-	127	-	-	-	-	1,720
-	-	-	-	-	-	32	-	32	-	33	-	33	-	-	-	20	896
-	-	-	-	-	136	77	-	213	-	-	-	-	-	-	-	-	1,975
-	-	53	38	91	-	124	303	427	-	-	81	81	-	-	-	90	1,471
-	-	-	-	-	-	-	60	60	-	-	-	-	-	-	-	286	3,733
-	-	-	-	-	-	-	246	246	-	-	-	-	-	-	-	312	22,425
-	-	-	136	136	-	-	318	318	-	-	113	113	-	-	-	56	623
-	-	-	-	-	-	-	19	19	-	-	-	-	-	-	-	830	9,403
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	699
-	-	28	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	169	4,067
-	-	34	58	92	-	-	147	147	-	-	-	-	-	-	-	96	3,411
-	-	-	72	72	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7,195
-	-	-	-	-	68	-	16	84	39	-	-	39	-	-	-	211	1,947
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	134	1,221.8
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200	3140
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130	6,504

3. 土地利用可能性分級

3-1 土地利用可能性分級と自然条件との関連

(単位: ha)

市町村名 土地利用可 能性分 級	一類地	二類地	三類地	四類地	五類地	六類地	七類地	八種湖含 み分類地を 沼む地を	合 計	備 考
総 計	4,197	83,204	44,654	49,068	26,460	220	1,0025	20,900	238,728	
市 部 計	3,635	76,062	33,727	14,898	3,394	35	2,033	18,271	152,055	
郡 部 計	562	7,142	10,927	34,170	23,066	185	7,992	2,629	86,673	
郡 部										
三浦郡	182	153	332	1,033	—	—	—	—	1,700	
高座郡	—	2,698	779	—	—	—	—	69	3,546	
中 郡	266	1,172	918	240	—	—	—	20	2,616	
足柄上郡	—	624	3,220	8,646	13,059	56	3,878	744	30,227	
足柄下郡	—	298	2,463	8,806	1,398	50	129	1,025	14,169	
愛甲郡	33	1,092	1,149	3,974	1,390	30	2,842	96	10,606	
津久井郡	81	1,105	2,066	11,471	7,219	49	1,143	675	23,809	
市 部	3,635	76,062	33,727	14,898	3,394	35	2,033	18,271	152,055	
横浜市	1,125	24,587	7,469	919	—	—	—	8,207	42,307	
川崎市	—	7,280	1,040	—	—	—	—	4,681	13,001	
横須賀市	1,218	1,977	3,177	2,148	—	—	—	1,342	9,862	
平塚市	—	4,526	1,599	25	—	—	—	638	6,788	
鎌倉市	888	920	1,463	437	—	—	—	245	3,953	
藤沢市	153	5,166	1,275	28	—	—	14	327	6,963	
小田原市	136	2,555	3,222	3,462	1,054	—	—	995	11,424	
茅ヶ崎市	—	2,815	658	—	—	—	—	103	3,576	
逗子市	115	312	746	397	—	—	—	216	1,786	
相模原市	—	8,615	172	—	—	—	—	290	9,077	
三浦市	—	1,865	1,095	—	—	—	28	127	3,115	
秦野市	—	2,658	2,662	1,754	1,657	—	1,625	60	10,416	
厚木市	—	4,303	2,738	1,215	147	19	243	621	9,286	
大和市	—	2,615	194	—	—	—	—	49	2,858	
伊勢原市	—	1,682	2,146	1,371	212	—	123	38	5,572	
海老名市	—	2,238	93	—	—	—	—	189	2,520	
座間市	—	1,405	308	—	—	—	—	81	1,794	
南足柄市	—	543	3,670	3,142	324	16	—	62	7,757	
郡 部										
三浦郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(単位: ha)

市町村名	土地利用可能分級	一類地	二類地	三類地	四類地	五類地	六類地	七類地	八ヶ岳含 類分沼む 地地を	合計	備考
葉山町		182	153	332	1,033	—	—	—	—	1,700	
高座郡											
寒川町		—	988	265	—	—	—	—	69	1,322	
綾瀬町		—	1,710	514	—	—	—	—	—	2,224	
中郡											
大磯町		169	773	606	172	—	—	—	—	1,720	
二宮町		97	399	312	68	—	—	—	20	896	
足柄上郡											
中井町		—	514	1,449	12	—	—	—	—	1,975	
大井町		—	110	959	290	22	—	—	90	1,471	
松田町		—	—	90	1,516	1,421	—	420	286	3,733	
山北町		—	—	155	6,828	11,616	56	3,458	312	22,425	
開成町		—	—	567	—	—	—	—	56	623	
足柄下郡											
箱根町		—	—	1,654	5,599	1,141	50	129	830	9,403	
真鶴町		—	120	415	138	—	—	—	26	699	
湯河原町		—	178	394	3,069	257	—	—	169	4,067	
愛甲郡											
愛川町		33	1,092	1,113	1,031	46	—	—	96	3,411	
清川村		—	—	36	2,943	1,344	30	2,842	—	7,195	
津久井郡											
城山町		66	480	560	630	—	—	—	211	1,947	
津久井町		15	452	735	4,201	5,489	49	1,143	134	12,218	
相模湖町		—	173	485	1,906	376	—	—	200	3,140	
藤野町		—	—	286	4,734	1,354	—	—	130	6,504	

3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連

3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連

(単位: km²)

土地利用可能 性分級 地形区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
山地・火山地	—	—	23.7	445.4	259.1	2.2	96.3	—	826.7	
丘陵地	—	4.1	183.6	24.8	2.7	—	—	—	215.2	
台地・段丘	—	384.6	90.2	5.7	—	—	—	12.8	493.3	
低地	42.0	443.3	149.0	14.8	2.8	—	4.0	196.2	852.1	
合計	42.0	832.0	446.5	490.7	264.6	2.2	100.3	209.0	2387.3	

3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連

(単位: km²)

土地利用可能 性分級 傾斜	1類地	2類分	3類分	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
0°～3°(S ₁)	42.0	601.6	148.2	0.9	1.2	—	0.4	209.0	1003.3	
3°～6°(S ₂)	—	230.4	66.6	1.1	—	—	—	—	298.1	
6°～15°(S ₃)	—	—	231.7	6.1	0.9	—	—	—	238.7	
15°～30°(S ₄)	—	—	—	482.6	25.3	1.5	—	—	509.4	
30°～40°(S ₅)	—	—	—	—	237.2	0.7	—	—	237.9	
40°～(S ₆)	—	—	—	—	—	—	—	99.9	99.9	
合計	42.0	832.0	446.5	490.7	264.6	2.2	100.3	209.0	2387.3	

3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関係

(単位 km²)

土地利用可能 性分級 標高区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地	合計
低暖地帯 (H ₁)	42.0	832.0	423.0	272.5	33.6	—	4.7	209.0	1816.8
山間地帯 (H ₂)	—	—	23.5	218.2	231.0	2.2	95.6	—	570.5
高冷地帯 (H ₃)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生産限界外地帯	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	42.0	832.0	446.5	490.7	264.6	2.2	100.3	209.0	2387.3

3-2-4 土地利用可能性分級と土壤生産力との関連

土地利用可能 性分級 土壤 生産力可 能性等級区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地 (湖沼を含む))	合計	備考
はなはだよい (P ₁)	4,197	3367	6,721	17,338	12,263	—	4,428	—	48,314	
ややよい (P ₂)	—	79,837	11,896	26,448	9,286	—	3,568	—	131,035	
やや劣る (P ₃)	—	—	26,037	3,149	497	—	—	—	29,683	
劣る (P ₄)	—	—	—	2,133	4,414	—	1,938	—	8,485	
はなはだ劣る (P ₅)	—	—	—	—	—	220	91	—	311	
未区分地	—	—	—	—	—	—	—	20900	20,900	
合計	4,197	83,204	44,654	49,068	26,460	220	10,025	20,900	238,728	

3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要

土地利用可能性分級			1類地	2類地	3類地
地域の概要					
地	域名	三浦半島 北 部 地 域	県 中 相模原台地北・中部地域	県 西 足柄平野地域	
形	傾斜(谷密度)	S ₁ (0°~30°)	S ₁ (0°~30°)	S _{1~3} (0°~15°)	
表層地質	標高(植栽限界)	0~20m	20~200m	20~100m	
	岩石の種類 岩石のかたさ 時	砂岩・泥岩互層 中 第三紀	ローム 軟 第四紀	沖積 軟 第四紀	
土	農田	土壤統群生産力可能性分級	—	褐色低地土壤 細粒灰色低地土壤 細粒グライ土壤 II	粗粒褐色低地土壤 粗粒灰色低地土壤 III
	畑	土壤統群生産力可能性等級	—	厚層黒ボク土壤 II	淡色黒ボク土壤 黒ボク土壤 II~III
壤	草地	土壤統群生産力可能性等級	—	—	—
	林地	土壤統群生産力可能性分級	褐色森林土壤 B I (適潤型) I	—	—
水	地表水	○	○	○	
利	地下水	×	△	×	
用	天水	×	×	×	
気候区分			南関東	〃	〃
面積	土地利用可能性類地別面積県内合計(A)	4,197	83,204	44,654	
	当該地域の類地別面積合計(B)	2,106	16,583	4,748	
	% (B/A)	50	20	11	

(単位: ha)

4類地	5類地	6類地	7類地	8類地	備考
県西 箱根山地中部地域	県西 丹沢山地西部地域	県西 箱根山地中部地域	県央 丹沢山地東部地域	横浜・川崎 市街地域	
S _{2~6} (3°~40°)	S _{4~6} (15°~40°)	S ₅ (20°~30°)	S ₇ (40°以上)	S ₁ (3°未満)	
100~1400 m	100~1000 m	500~1000 m	500~1500 m	20 m 以下	
火山岩 硬 第四紀	緑色凝灰岩 硬 第三紀	火山灰 硬 第四紀	緑色凝灰岩 硬 第三紀	沖積層 軟 第四紀	
—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	
黒ボク土壤 II	褐色森林土壤 B II (やや乾燥型) 黒ボク土壤 II	岩屑性土壤 V	褐色森林土壤 B I (適潤型) 乾燥褐色森林土壤 I ~ II ~ IV	—	
○ × ×	○ × ×	○ × ×	○ × ×	× × ×	○ 利用 △ 若干利用 × 利用せず
〃	〃	〃	〃	〃	
4 9,0 6 8	2 6,4 6 0	2 2 0	1 0,0 2 5	2 0,9 0 0	
9,0 6 1	1 1,6 1 6	5 0	2,8 4 2	1 2,8 8 8	
1 9	4 4	2 3	2 8	6 2	

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況														備考
			水田		畑				草地		林地				空地・ その他		
	類地区分 および包含さ れる示性式	面積 ha	土 地 利 用 占 有 率	平均収 穫量率	土 地 利 用 占 有 率	主要作物 および平均 収穫量率	土 地 利 用 占 有 率	主要作物 および平均 収穫量率	利 用 占 有 率	草地の種 類および 平均収穫 量率	人 工 林	天 然 林	土 地 利 用 占 有 率	主要樹種 および平均 収穫量率	土 地 利 用 占 有 率	主要樹種 および平均 収穫量率	
横浜市	1類地	1.11	1,125											C	広115		平均収穫量率 は0%を示す。
	2類地	1.12 1.21 1.22	2,4587		D	葉根菜類 90							D	広115		土地利用 占有率 A: 100~75% B: 74~50% C: 49~25% D: 24~ 5%	
	3類地	1.13 1.23 1.31	1.32 1.33	7,469	D	水稻 93							C	クロマツ95 ス ¥90	D	広110	
	4類地	1.14 1.34 1.41	1.42 1.44	919									B	広100		空欄: 4%以下 以下, 各表とも同一	
	5類地			—													天然林の広さ 広葉樹を示す 以下各表とも 同一
	6類地			—													
	7類地			—													
	8類地			8,207										A	市街地・他		
市町村計		42,307															
川崎市	1類地		—														
	2類地	1.12 1.22	7,280		D	葉根菜類 87							D	広115			
	3類地	1.13 1.23	1,040	D	水稻 89								D	クロマツ95 ス ¥90	D	広115	
	4類地			—													
	5類地			—													
	6類地			—													
	7類地			—													
	8類地			4,681										A	市街地・他		
市町村計		13,001															

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況												備 考	
			水 田		畑				草 地		林 地					
	類地区分お よび包含さ れる示式	面 積 ha	土 地 利 用 占有率	平均收 穫量率	土 地 利 用 占有率	主要作物 および平均 收穫量率	土 地 利 用 占有率	主要作物 および平均 收穫量率	土 地 利 用 占有率	草地の種 類および 平均收穫 量率	人 工 林	天 然 林	土 地 利 用 占有率	主要樹種 および平均 收穫量率	土 地 利 用 占有率	
横 須 賀 市	1類地	1.1 1	1,218										C	広 115		
	2類地	1.1 2 1.2 1 1.2 2	1,977	C 水稻 90	D	兼根菜類 109							D	広 115		
	3類地	1.1 3 1.2 3 1.3 1	3,177	D 水稻 85									D	広 110		
	4類地	1.2 4 1.3 4 1.4 1 1.4 4	2,148										B	広 110		
	5類地	—														
	6類地	—														
	7類地	—														
	8類地	—	1,342										A	市街地・他		
市 町 村 計			9,862													
平 塙 市	1類地	—														
	2類地	1.1 2 1.2 1 1.2 2	4,526	B 水稻 107									D	広 100		
	3類地	1.1 3 1.2 3 1.3 1	1,599		C	兼根菜類 100							D	広 100		
	4類地	1.4 2	25										A	広 95		
	5類地	—														
	6類地	—														
	7類地	—														
	8類地	—	638										A	市街地・他		
市 町 村 計			6,788													

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 態												備 考
			水 田		畑				草 地		林 地				
	類地区分および包含される示合式		土 地	利 用 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	土 地	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地	利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地	利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地	
	類地区分および包含される示合式	面 積 ha	利 用 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	利 用 占 有 率	利 用 占 有 率	利 用 占 有 率	利 用 占 有 率	利 用 占 有 率	利 用 占 有 率	利 用 占 有 率	利 用 占 有 率	利 用 占 有 率	利 用 占 有 率	
1 類 地	1.1 1	888												D 広 115	
2 類 地	1.1 2 1.2 1 1.2 2	920												D 広 115	
3 類 地	1.1 3 1.3 2 1.2 3 1.3 3 1.3 1	1,463											D スギ 95	D 広 110	
4 類 地	1.2 4 1.4 2 1.3 4 1.4 4 1.4 1	437											C クロマツ 95		
5 類 地		—													
6 類 地		—													
7 類 地		—													
8 類 地		245												A 市街地・他	
市 町 村 計		3,953													
1 類 地	1.1 1	153												B 広 115	
2 類 地	1.1 2 1.2 1 1.2 2	5,166			A	葉根菜類 95							D クロマツ 95		
3 類 地	1.1 3 1.3 2 1.2 3 1.3 1	1,275	A	水 稲 98									D 広 115		
4 類 地	1.1 4 1.2 4	28											A 広 110		
5 類 地		—													
6 類 地		—													
7 類 地	1.1 0	14												A	
8 類 地		327												A 市街地・他	
市 町 村 計		6,963													

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備考
			水田		畑				草地		林地				
	類地区分および包含される示性式	面積 ha	土地利用占有率	平均収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	土地利用占有率	草地の種類および平均収穫量率	人工林	天然林	土地利用占有率	主要樹種および平均収穫量率	
田原市	1類地	1.11	136										A	広100	
	2類地	1.12 1.21 1.22	2,555	C	水稻 100		C	柑橘 106				D	広100		
	3類地	1.13 1.23 1.31	1.32 1.33	3,222	D	水稻 110		D	柑橘 106		D	スギ95			
	4類地	1.41 1.42 1.43	2.41 2.42	3,462			B	柑橘 106			C	ヒノキ100 スギ95	D	広95	
	5類地	1.51 1.52 2.51	2.52	1,054							B	ヒノキ100	D	広95	
	6類地			—											
	7類地			—											
	8類地			995									A	市街地・他	
市町村計		11,424													
茅ヶ崎市	1類地			—											
	2類地	1.12 1.22	2,815	C	水稻 102	C	葉根菜類 100				D	クロマツ75			
	3類地	1.13 1.23	658	A	水稻 95										
	4類地			—											
	5類地			—											
	6類地			—											
	7類地			—											
	8類地			103									A	市街地・他	
市町村計		3,576													

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況												備 考	
			水 田		畑				草 地		林 地					
	類地区分および包含される示式	面 積 ha	土 地 利 用 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 利 用 占 有 率	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 占 有 率	
延 子 市	1類地	1.11	115											B	広 115	
	2類地	1.12 1.21 1.22	312											C	広 115	
	3類地	1.31 1.32	746											C	広 110	
	4類地	1.14 1.41 1.24 1.42 1.34 1.44	397										B	スギ 95		
	5類地		—													
	6類地		—													
	7類地		—													
	8類地		216											A	市街地・他	
市 町 村 計			1,786													
模 原 市	1類地		—													
	2類地	1.12 1.22	8,615		D	葉根菜類 91						D	クロマツ95	D	広 100	
	3類地	1.13	172	A	水稻 82											
	4類地		—													
	5類地		—													
	6類地		—													
	7類地		—													
	8類地		290											A	市街地・他	
市 町 村 計			9,077													

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況												備 考	
			水 田		畑				草 地		林 地					
	類地区分 および包含さ れる示式		面 積 ha	土 地 利 用 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地	草地の種 類および 平均収穫 量率	土 地	人 工 林	天 然 林	土 地 利 用 占 有 率	
三 浦 市	1 類 地		—													
	2 類 地	1.1 2 1.2 2	1,865			C	葉根菜類 120							D	広 115	
	3 類 地	1.1 3 1.2 3 1.3 2	1,095			C	葉根菜類 115							C	広 110	
	4 類 地		—													
	5 類 地		—													
	6 類 地		—													
	7 類 地	1.1 0	28												A	
	8 類 地		127												A	市街地・他
市 町 村 計			3,115													
秦 野 市	1 類 地		—													
	2 類 地	1.1 2 1.2 2	2,658			D	麦 類 105							C	広 95	
	3 類 地	1.1 3 1.2 3 1.3 2	2,662			D	麦 類 105							C	広 95	
	4 類 地	1.4 1 1.4 2 1.4 2 1.4 3	1,754										C	ス キ 105 ヒ ノ キ 105	D	広 90
	5 類 地	1.5 1 1.5 2 1.5 2 2.5 1	1,657										B	ヒ ノ キ 105		
	6 類 地		—													
	7 類 地	2.6 1 2.6 2 2.6 4	1,625										D	ヒ ノ キ 105	C	広 90
	8 類 地		60												A	市街地・他
市 町 村 計			10,416													

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備考	
			水田		畑				草地		林地					
	普通畠	樹園地	土地	草地の種類および平均収穫量率	人工林	天然林	土地	主要樹種および平均収穫量率	土地	主要樹種および平均収穫量率	土地	主要樹種および平均収穫量率	土地	主要樹種および平均収穫量率		
	類地区分および包含される示式	面積ha	土地占有率	平均収穫量率	土地占有率	主要作物平均収穫量率	土地占有率	主要作物平均収穫量率	土地占有率	主要樹種平均収穫量率	土地占有率	主要樹種平均収穫量率	土地占有率	主要樹種平均収穫量率		
	1類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	2類地	1.12 1.22	4,303	D	水稻 97	D	葉根菜類 95	—	—	—	—	—	—	D 広 100		
厚	3類地	1.13 1.23 1.31	1.32 1.33 2.22	2,738	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B 広 100		
木	4類地	1.34 1.41 1.42	1.43 1.44 2.41 2.42	1,215	—	—	—	—	—	—	—	—	B スギ 100	C 広 90		
市	5類地	2.14 2.44 2.51	—	147	—	—	—	—	—	—	—	—	A 広 90			
	6類地	—	2.45	—	19	—	—	—	—	—	—	—	A 広 50			
	7類地	—	2.61 2.62 2.64	—	243	—	—	—	—	—	—	—	B 広 90			
	8類地	—	—	—	621	—	—	—	—	—	—	—	—	A 市街地・他		
	市町村計	—	9,286	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	1類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	2類地	1.12 1.22	—	2,615	—	D	葉根菜類 100	—	—	—	D クロマツ 95	—	—	—		
大	3類地	1.13 1.23	1.13 1.23	1,94	B	水稻 81	—	—	—	—	—	—	—	—		
和	4類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
市	5類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	6類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	7類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	8類地	—	—	—	49	—	—	—	—	—	—	—	—	A 市街地・他		
	市町村計	—	2,858	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況														備 考	
			水田		畑				草地		林地				空地・ その他			
	類地区分 および包含さ れる示式	面積 ha	土 地 利 用 率	平均収 穫量率	普通畑		樹園地		土 地 利 用 率	草地の種 類および 平均収穫 量率	人工林		天然林		土 地 利 用 率	主要樹種 および平均 収穫量率	土 地 利 用 率	主要樹種 および平均 収穫量率
伊勢原市	1類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	2類地	1.12 1.22	1.682	—	—	D	麦類 101	—	—	—	—	—	—	—	D	広 100	—	
	3類地	1.13 1.23 1.32 1.33	2.146	D	水稻 105	—	—	D	柑橘 89	—	—	—	—	—	D	広 100	—	
	4類地	1.34 1.41 1.42	1.44 2.41 2.42	1.371	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B	スギ 100	—	
	5類地	1.52 2.14	2.52 2.54	212	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	ヒノキ 105	—	
	6類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	7類地	2.62 2.64	123	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	広 90	—	
	8類地	—	38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	市街地,他
	市町村計	5572	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
海南老名市	1類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2類地	1.12 1.22	2.238	D	水稻 105	D	葉根菜類 95	—	—	—	—	—	—	—	D	クロマツ 95	D	広 100
	3類地	1.13 1.23	93	D	水稻 95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	4類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	5類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	6類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	7類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	8類地	—	189	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	市街地,他
	市町村計	2,520	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況														備考
			水田		畑				草地		林地				空地・その他		
	類地区分および包含される示式	面積ha	土地利用占有率	平均収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	土地利用占有率	草地の種類および平均収穫量率	人工林	天然林	土地利用占有率	主要樹種および平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種および平均収穫量率	
1類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2類地	1.1 2 1.2 2	1,405	—	—	D	葉根菜類 98	—	—	—	—	D	クロマツ 95	D	広 100	—	—	
3類地	1.1 3 1.2 3	308	C	水稻 92	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8類地	—	81	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A 市街地・他	—	
市町村計		1,794	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2類地	1.1 2 1.2 1 1.2 2	543	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	D	広 100	—	—	—
3類地	1.1 3 1.3 2 1.2 3 1.3 3 1.3 1 2.3 1 2.3 2	3,670	D	水稻 114	—	—	D	柑橘 101	—	—	C	スギ 105	—	—	—	—	—
4類地	1.4 1 2.4 1 1.4 2 2.4 2 1.4 3	3,142	—	—	—	—	—	—	—	—	C	スギ 105 ヒノキ 105	D	広 100	—	—	—
5類地	2.4 4 2.5 1 2.5 2	324	—	—	—	—	—	—	—	—	B	ヒノキ 105	D	広 90	—	—	—
6類地	2.4 5	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	広 50	—	—	—
7類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8類地	—	62	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A 市街地・他	—	—
市町村計		7,757	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

市 町 村 名	類 地 区 分		土地 利 用 の 現 況													備 考
			水 田		畑				草 地			林 地			空地・ その他	
	類地区分 および包含さ れる示式	面積 ha.	土 地 利 用 占有率	平 均 収 穫量率	土 地 利 用 占有率	主 要 作 物 および平均 収穫量率	土 地 利 用 占有率	主 要 作 物 および平均 収穫量率	利 用 占有率	土 地 利 用 占有率	主 要 樹 種 および平均 収穫量率	土 地 利 用 占有率	主 要 樹 種 および平均 収穫量率	土 地 利 用 占有率	備 考	
葉	1類地	111	182	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C 広 115	—	
	2類地	112 121	153	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C 広 115	—	
	3類地	131 132	332	D	水稻 86	—	—	—	—	—	—	—	—	C 広 110	—	
	4類地	114 142 141 144	1,033	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C スギ 95 D 広 110	—	
	5類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	6類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	7類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	8類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
市 町 村 計		1,700	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
寒川町	1類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2類地	112	988	D	水稻 105	D	蕷根菜類 100	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3類地	113	265	D	水稻 95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8類地	—	69	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A 市街他，他	—	—
市 町 村 計		1,322	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備考
			水田		畑				草地		林地				
	類地区分および包含される示性式	面積ha	土地利用占有率	平均収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	土地利用占有率	草地の種類および平均収穫量率	人工林	天然林	土地利用占有率	土地利用占有率	
綾瀬町	1類地	—													
	2類地	1.12 1.22	1,710		D	葉根菜類 95					D	クロマツ 95	D	広 100	
	3類地	1.13 1.23	514	D	水稻 86										
	4類地	—													
	5類地	—													
	6類地	—													
	7類地	—													
	8類地	—													
市町村計		2,224													
大磯町	1類地	1.11	169									D	広 100		
	2類地	1.12 1.21 1.22	773								D	スギ 100			
	3類地	1.13 1.32 1.23 1.33 1.31	606		D	葉根菜類 109	D	柑橘 99		D	クロマツ 95	C	広 100		
	4類地	1.34 1.43 1.41 1.44 1.42	172									A	広 90		
	5類地	—													
	6類地	—													
	7類地	—													
	8類地	—													
市町村計		1,720													

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備考
			水田		畑				草地		林地		空地・その他		
	類地区分および包含される小字式	面積ha	土地利用占有率	平均収穫量率	普通畑	樹園地	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	草地の種類および平均収穫量率	人工林	天然林	土地利用占有率	主要樹種および平均収穫量率	土地利用占有率	
二 宮 町	1類地 1.1.1	97										D	広 90		
	2類地 1.1.2 1.2.1 1.2.2	399										D	広 90		
	3類地 1.2.3 1.3.1 1.3.3	312				D	柑橘 97					D	広 90		
	4類地 1.4.1 1.4.2 1.4.4	68										B	広 80		
	5類地	—													
	6類地	—													
	7類地	—													
	8類地	20											A 市街地、他		
市町村計			896												
中 井 町	1類地	—													
	2類地 1.2.1 1.2.2	514			D	麦類 100				D	スギ 105				
	3類地 1.1.3 1.3.2 1.2.3 1.3.3 1.3.1	1,449			D	葉根菜類 106	D	柑橘 98				B	広 100		
	4類地 1.4.3	12										B	広 90		
	5類地	—													
	6類地	—													
	7類地	—													
	8類地	—													
市町村計			1,975												

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備考
			水田		畑				草地		林地				
	類地区分 および包含さ れる示性式	面積 ha	土地利 用占有率	平均収 穫量率	土地利 用占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利 用占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利 用占有率	草地の種 類および 平均収穫 量率	人工林	天然林	空地・ その他		
大 井 町	1類地	—													
	2類地	1.12 1.22	110								A	スギ 105			
	3類地	1.13 1.32 1.23 1.33	959	D	水稻 113			D	柑橘 97						
	4類地	1.42 1.43	290									B	広 100		
	5類地	1.52	22									B	広 90		
	6類地	—													
	7類地	—													
	8類地	—	90										A	市街地・他	
市町村計		1471													
松 田 町	1類地	—													
	2類地	—													
	3類地	1.13 1.32 1.23 1.33	90	D	水稻 108										
	4類地	1.41 2.41 1.42 2.42 1.43	1516								B	スギ 105 ヒノキ 105			
	5類地	1.51 2.51 1.52 2.52 1.53	1421					D	柑橘 99			C	広 100		
	6類地	—													
	7類地	2.61 2.62 2.64	420									A	広 90		
	8類地	—	286										A	市街地・他	
市町村計		3733													

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況														備考
			水田		畑				草地		林地				空地・ その他		
	類地区分 および包含さ れる示性式	面積 ha	土 地 利 用 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 穫 量 率	人 工 林	天 然 林	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	
1 類 地		—															
2 類 地		—															
3 類 地	1.13 2.12	155											A	スギ 105			
4 類 地	1.41 2.41 1.42 2.42 1.43 2.43	6,828					D	柑橘 98				C	スギ 105 ヒノキ 105				
北	5 類 地	1.51 2.51 1.52 2.52 1.53 2.53 1.54 2.54	11,616									C	スギ 100	B	広 100		
町	6 類 地	2.45 2.55	56												A	広 100	
7 類 地	1.61 2.64' 2.61 2.65 2.62	3,458										C	ヒノキ 100	B	広 90		
8 類 地		312														A	市街地・他
市町村計		22,425															
開	1 類 地		—														
成	2 類 地		—														
町	3 類 地	1.13	567	A	水稻 117												
6 類 地		—															
7 類 地		—															
8 類 地		56													A	河川敷	
市町村計		623															

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況												備 考
			水 田		烟				草 地		林 地				
	類地区分 および包含さ れる示性式	面 积 ha.	土 地 利 用 占有率	平均收 穫量率	土 地 利 用 占有率	主 要 作 物 および平 均 收 穫 量 率	土 地 利 用 占有率	主 要 作 物 および平 均 收 穫 量 率	人 工 林	天 然 林	土 地 利 用 占有率	主 要 樹 種 および平 均 收 穫 量 率	土 地 利 用 占有率	空地・ その他の 利 用	
箱根町	1類地	—													
	2類地	—													
	3類地	123 222 131 231 212 232	1654									A ヒノキ 95 スギ 85			
	4類地	141 241 142 242	5599									D ヒノキ 95			
	5類地	151 244 152 252	1141									B 広 85			
	6類地	245	50									B 広 70			
	7類地	2.61 2.62 2.65	129									C ヒノキ 90			
	8類地		830												A 市街地・他
	市町村計	9403													
真鶴町	1類地	—													
	2類地	112 122	120				D 柑橘 96					C 広 85			
	3類地	123 132 131 232	415				D 柑橘 100			D ヒノキ 95					
	4類地	141 242	138												
	5類地	—													
	6類地	—													
	7類地	—													
	8類地		26												A 市街地
	市町村計	699													

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況														備 考
			水 田		畑						草 地		林 地				空地・ その他の 利 用
					普 通 畑		樹 園 地				土 地	草 地 の 種 類 お よび 利 用 均 倍 率	人 工 林	天 然 林			
類地区分 お よび包含さ れる示式	面 積 ha	土 地 利 用 占 有 率	地 用 積 量 率	平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よび 平 均 利 用 積 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よび 平 均 利 用 積 量 率	利 用 占 有 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 地 用 積 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 地 用 積 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 地 用 積 量 率		
1 類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2 類地	1.12 1.21 1.22	178	—	—	—	—	D	柑橘 100	—	—	—	—	—	—	—	—	
湯	3 類地	1.23 1.31 1.32 1.32	394	—	—	—	—	—	—	—	—	C	スギ 85	—	—	—	
河	4 類地	1.41 1.42 1.43 1.44 2.41 2.42	3,069	—	—	—	D	柑橘 100	—	—	D	ヒノキ 95	C	広 85	—	—	
原	5 類地	1.51 1.52 1.54 2.44 2.52	257	—	—	—	—	—	—	—	C	クロマツ 100	—	—	—	—	
町	6 類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	D	広 50	—	—	
7 類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8 類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A 市街地・他
市 町 村 計	4,067	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
愛	1 類地	1.11	33	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B	広 100	—	—	
川	2 類地	1.11 1.22	1,092	—	—	D	陸稻 94	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
町	3 類地	1.13 1.31 1.33 1.32	1,113	D	水稻 86	—	—	—	—	—	—	C	スギ 105	—	—	—	
4 類地	1.24 1.41 1.42 1.43 1.44 2.42	1,031	—	—	—	—	—	—	—	—	—	D	ヒノキ 105	B	広 100	—	
5 類地	2.44	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B	広 50	—	—	
6 類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7 類地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8 類地	—	96	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A 河川敷
市 町 村 計	3,411	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備考
			水田		畑				草地		林地				
	類地区分ふ びよび包含さ れる示式	面積 ha	土 地 利 用 占 有 率	平均收 穫量率	土 地 利 用 占 有 率	主要作物 おとび平均 收穫量率	土 地 利 用 占 有 率	主要作物 おとび平均 收穫量率	草地の種 類および 平均收穫 量率	土 地 利 用 占 有 率	人工林	天然林	土 地 利 用 占 有 率		
市	1類地	—													
町	2類地	—													
村	3類地	1.32	36							A	スギ 100				
川	4類地	1.34 1.44 1.41 2.41 1.42 2.42	2,943									C 広 100			
	5類地	1.51 2.34 1.52 1.52 2.44 2.53 2.14 2.51 2.54	1,344									B 広 100			
市	6類地	2.55	30									B 広 60			
町	7類地	1.61 2.64 2.61 2.65 2.62	2,842									D 広 90			
村	8類地	—													
市町村計			7,195												
市	1類地	1.11	66									C 広 100			
町	2類地	1.12	480		D 陸稻 93							C 広 100			
村	3類地	1.13 1.31 1.32	560							D	スギ 105 ヒノキ 105				
山	4類地	1.14 1.42 1.34 1.44 1.41	630							D	スギ 105 クロマツ 110	C 広 90			
	5類地	—													
町	6類地	—													
市	7類地	—													
町	8類地	—	211									A 湖沼・他			
市町村計			1,947												

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況														備 考
			水 田		畑				草 地		林 地				空地・ その他の 利 用		
					普 通 畑		樹 園 地		土 地		草地の種 類および 平均収 穫量率		人 工 林		天 然 林		
	類地区分 および包含さ れる示式式	面 積 ha	土 地 利 用 占有率	平均収 穫量率	土 地 利 用 占有率	主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占有率	主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率	利 用 占有率	量	土 地 利 用 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占有率	備 考	
市	1 類地	1.11	15												A	広 100	
町	2 類地	1.12 1.22	452		D	陸稻 98									C	広 100	
村	3 類地	1.31 1.32 2.32	735		D	桑 100											
津	4 類地	1.41 2.13 1.42 2.41 1.44 2.42 2.43	4,201										D	スギ 105	B	広 100	
久	5 類地	1.51 2.44 1.52 2.51 2.34 2.52 2.53 2.54	5,489										D	アカマツ 110	C	広 100	
井	6 類地	2.45 2.55	49												B	広 50	
町	7 類地	1.61 2.62 1.62 2.64 2.61	1,143										C	スギ 105			
町	8 類地		134														A 湖沼・他
市	市 町 村 計	12,218															
相	1 類地		—														
模	2 類地	1.12 1.22	173		D	陸稻 103									B	広 100	
湖	3 類地	1.31 1.32	485		D	桑 100											
町	4 類地	1.41 2.41 1.42 2.42 1.44 2.43	1,906										B	スギ 115			
町	5 類地	1.51 2.52 2.44 2.54 2.51	376												B	広 100	
町	6 類地		—														
町	7 類地		—														
町	8 類地		200														A 湖沼・他
市	市 町 村 計	3,140															

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況														備考
			水田		畑				草地		林地				空地・その他		
					普通畑		樹園地		土地	草地の種類および平均収穫量率	土地	人工林	草地	天然林	土地	空地・その他	
	類地区分 および包含さ れる示性式	面積 ha	土地用 利占有率	平均収 穫量率	土地用 利占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地用 利占有率	主要作物 および平均 収穫量率	利 用 率	占有率	土地用 利占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地用 利占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地用 利占有率	空地・ その他	
藤野町	1類地	—															
	2類地	—															
	3類地	1-32 1-33	286											B	広 100		
	4類地	1-34 1-41 1-44 1-42 2-41 2-42	4,734		D	麦類 80					D	スギ 115					
	5類地	1-51 1-52 2-51 2-34 2-52 2-54	1,354								B	スギ 115					
	6類地	—															
	7類地	—															
	8類地	—												A	湖沼・他		
市町村計			6,504														